

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ICT (Information and Communication Technology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	前期
コース	全コース			2	曜日・時限	金曜1.2限	

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 情報へのアクセスが容易になった現在では、様々な端末で通信を行い生活する事が当たり前になってきました。社会に出るとパソコンを駆使して情報をまとめ、更にはプレゼンテーションする能力も求められます。この授業では、Microsoft Office Word, Microsoft Office PowerPointを使用し、基本的な操作を覚えることで、視覚的なフライヤーを作成していきます。また、プレゼンテーションの基礎を覚え、プレゼン資料を作成し、授業内で実際にプレゼンテーションを行います。
 ※実務者経験:専門学校にてWord,Excel,PowerPoint,ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】
 ①インターネットの現状を学ぶことで、ITリテラシーを身につける。② Wordの基本操作を覚えることで、簡単な文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成(ポスター、フライヤーなど)ができる。③PowerPointの基本操作を覚え、スライド作成の手順を学ぶことで、見やすく説得力のあるスライドを作成し発表することができる。

授業計画・内容

1回目	ITガイダンス com portalアカウントを取得し、メールアドレスの設定が完了する。ITリテラシー理解度テストを受け、合格する。
2回目	Word1 基本的な操作を覚え、簡単な文書を作成することができる。
3回目	Word2 基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単な文書を作成することができる。
4回目	Word3 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な文書の作成ができる。
5回目	Word4 図形、画像などを使い、視覚的な文書(フライヤー)の作成、印刷ができる。
6回目	PowerPoint1 基本的な操作を覚え、簡単なスライド作成ができる。
7回目	PowerPoint2 基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単なスライド作成ができる。
8回目	PowerPoint3 作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。
9回目	PowerPoint4 作成したスライドに動画を入れることができる。
10回目	PowerPoint5-① プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
11回目	PowerPoint5-② プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
12回目	PowerPoint5-③ プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
13回目	PowerPoint5-④ プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。
14回目	PowerPoint6-① 自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。
15回目	PowerPoint6-② 自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。
準備学習 時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておく、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやPowerPointなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。

評価方法	定期試験50% 課題成果50%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。
------	--------------------	--	---

受講生へのメッセージ
 パソコンの基本的な操作を身につけ、最終的には自分で完成させたスライドでプレゼンテーションをしていきます。授業を通して、自分の思いを言葉にして伝えることの難しさや楽しさ、自分独自の表現を見つけていきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
 テキスト:株式会社滋慶出版 COMPUTER BACIC WORD 2013・2016
 その他:プリントを用意
 データ保存用記憶媒体(USBフラッシュメモリ)

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ICT (Information and Communication Technology)	必修 選択	必修	年次	1年	担当教員	三和 宗久
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30	開講区分	後期
コース	全コース			2	曜日・時限	金曜1.2限	

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 社会に出ると、パソコンを使って様々な情報を管理していくことになります。特に「Microsoft」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作は、仕事をする上では最低限求められるスキルで、どのような企業でも使われています。この授業ではMicrosoft Office Word, Excelを使い、ビジネスに必要な文書作成、表計算の基礎を覚え、基本的な文書作成や表計算ができるようにします。
 ※実務者経験: 専門学校にて、Word, Excel, PowerPoint, ホームページ制作などのITに関する授業を約15年行う。

【到達目標】
 Word: 基本操作を覚えることで、簡単で見栄えの良いビジネス文書の作成ができる。
 Excel: 基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。

授業計画・内容

1回目	Word1-1 基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。
2回目	Word1-2 基本的な操作を覚え、見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
3回目	Word2-1 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。
4回目	Word2-2 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成でき、印刷できる。
5回目	Word3-1 表を作成する操作を覚え、表のあるビジネス文書を作成できる。
6回目	Word3-2 表を作成する操作を覚え、表のある見栄えの良いビジネス文書を作成できる。
7回目	Word4 Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる。(中間試験)
8回目	Excel1-1 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く)
9回目	Excel1-2 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く、数式)
10回目	Excel1-3 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く、数式、関数を使った計算)
11回目	Excel2-1 棒グラフの作成をすることができる。
12回目	Excel2-2 円グラフの作成をすることができる。
13回目	Excel2-3 複合グラフの作成をことができ、表とグラフを印刷することができる。
14回目	Excel3 これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。
15回目	Excel4 Excelで表とグラフを作成することができる。(期末試験)

準備学習
時間外学習
タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやExcelなどの操作をしっかりと習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。

評価方法	中間試験と期末試験 80% タイピング・課題成果 20%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	Word、Excelは中間試験、期末試験で評価を行う。
------	---------------------------------------	--	-----------------------------

受講生への
メッセージ
IT後期の授業では、ビジネス文書の作成など実際に社会に出たときに活用できる機能をたくさん学んでいきます。
 前期でやった内容をよく理解して、後期の内容に進んでいきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
 テキスト: 株式会社滋慶出版 COMPUTER BACIC WORD 2013・2016
 その他: プリントを用意
 データ保存用記憶媒体 (USBフラッシュメモリ)

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	グローバルコミュニケーション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜5限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。
 実務者経験: 英語教授に関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。

【到達目標】

- ・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。
- ・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。
- ・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。

授業計画・内容

1回目	L.1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ
2回目	L.1 オリエンテーション、自己紹介、挨拶の仕方を学ぶ
3回目	L.3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる
4回目	L.3 パーソナルな情報について、受け答えができるようになる
5回目	L.6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。
6回目	L.6 趣味、好きなことについて尋ねる、また答えることができるようになる。
7回目	L.8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ
8回目	L.8 意見を尋ねる、述べる。招待に対する受け答えについて学ぶ
9回目	L.11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ
10回目	L.11 褒める表現、また褒められたときの受け答えについて学ぶ
11回目	L.7,13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる
12回目	L.7,13 時間について尋ねる、道案内ができるようになる
13回目	総復習
14回目	学期末試験
15回目	試験返却、解説

準備学習
時間外学習
授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。

評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
------	---	--

受講生へのメッセージ
受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。
基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	グローバルコミュニケーション	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	ILC
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜5限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
主に高校時代に既に学んだ英語の文法や語彙に関する知識の復習と、ネイティブ講師とのスピーキングやリスニング練習を通じ、日常の様々な場面において自分の伝えたいことを自分の言葉で表現する方法を学ぶ。
実務者経験: 英語教授に関する資格を持ち、様々な教育機関での英語教育に2年以上携わる。

【到達目標】

- ・海外研修や職場、日常生活で使う英語コミュニケーションスキルの習得する。
- ・相手が何を求めているのかを確認したり、依頼や意見を聞いたり、様々な場面での英語を学ぶ。
- ・学生の英語学習に対する興味を高くし、海外文化についての理解を深めたり、国際的なコミュニケーションをするための自信をつける。

授業計画・内容

1回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる
2回目	L.14 質問に対する受け答えができるようになる
3回目	L.19 & 20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる
4回目	L.19 & 20 場所について説明できる、道順を教える、また答えることができるようになる
5回目	L.21 & 23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ
6回目	L.21 & 23 価格についての受け答えができるようになる。頻度についての表現方法を学ぶ
7回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。
8回目	L.28 食事に関する表現方法を学ぶ。レストランで注文ができるようになる。
9回目	L.29 & 30 過去の出来事について述べられるようになる
10回目	L.29 & 30 過去の出来事について述べられるようになる
11回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる
12回目	L.32 未来の計画について述べられるようになる
13回目	総復習
14回目	学期末試験
15回目	試験返却、解説

準備学習
時間外学習

授業を受けるにあたり、中学と高校の英語の復習をしておきましょう。

評価方法	1. 定期試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
	2. 小テスト (%)	
	3. レポート (%)	
	4. 課題成果 (%)	
	5. 実地試験 (%)	

受講生へのメッセージ

受身の姿勢ではなく、自分から発信し、積極的な姿勢で授業に参加してください。
基礎英語を楽しく学びましょう。分からない時は遠慮せずに先生に質問してください。

【使用教科書・教材・参考書】

「Speak Now 1」 Jack C. Richards/ David Bohlke, Oxford University Press

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	企画制作 I (Video planning and production I)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤 聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	土曜日2.3限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>映像の企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識（PCにおけるアプロケーション知識、SNS知識・舞台基礎）を中心に行う。 ※Zepp Nagoyaでのコンサート業務に携わる。その後、フォーチュンエンターテインメント（芸能プロダクション）、各種イベント制作会社を経て、現NSM職員</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>映像制作を行う上で必要な知識・技能の習得を目指す。</p>							

授業計画・内容		
1回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）①	
2回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）②	
3回目	尺貫法・舞台大道具について①/プロモーター会社運営について	
4回目	ドラムの組み方/電源知識①/チラシコーディネート	
5回目	道具の種類・使い方について	
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識①/カラーコーディネート知識	
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）①	
8回目	台本の読み取り方・メモの取り方・活用方法	
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について①（Twitter・Youtubeなど）	
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について②補足：データフォーマットに関して	
11回目	機材端子/電源について②	
12回目	楽器基礎知識について/電源について②	
13回目	舞台制作①/道具についておさらい	
14回目	舞台制作②/道具についておさらい	
15回目	照明予備知識について①	
準備学習 時間外学習	課題提出あり	
評価方法	小テスト（20%） 課題成果（70%） 実地試験（10%）	<small>評価方法はGPA制度となります</small> 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生への メッセージ		
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc</p>		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	企画制作Ⅱ (Video planning and productionⅡ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	佐藤 聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	土曜日2.3限
【授業の学習内容】 映像の企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識（PCにおけるアプリケーション知識、SNS知識・舞台基礎）を中心に行う。 ※Zepp Nagoyaでのコンサート業務に携わる。その後、フォーチュンエンターテインメント（芸能プロダクション）、各種イベント制作会社を経て、現NSM職員							
【到達目標】 映像制作を行う上で必要な知識・技能の習得を目指す。							

授業計画・内容		
1回目	タイムスケジュール・進行表作成①	
2回目	タイムスケジュール・進行表作成②	
3回目	尺貫法・舞台大道具について②	
4回目	HP制作技術講座①	
5回目	HP制作技術講座②	
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識②	
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）③	
8回目	音源データ作成知識（Garageband etc）④	
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について③（Twitter・Youtubeなど）	
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について④補足：データフォーマットに関して復習	
11回目	大道具舞台組み実習①	
12回目	大道具舞台組み実習②	
13回目	野外設営知識①	
14回目	野外設営知識②	
15回目	照明予備知識について②	
準備学習 時間外学習	課題提出あり	
評価方法	小テスト（20%） 課題成果（70%） 実地試験（10%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	映像企画制作Ⅲ (Video planning and production I)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	鈴木貴久
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	水曜1限

【授業の学習内容】

映像制作に必要なIllustrator&Photoshopの基本的動作、デザインスキルの習得。頭に描いたビジュアルは画面を通してどれだけ正確にカタチに出来るかを考え、反復練習を繰り返す中で様々なデザインの知識と技術を制作媒体を介して習得します。
※デザイン会社を経てフリーランスとして活動。Web、広告、アミューズ（芸能プロダクション）などのファンクラブ会報などを手掛ける。

【到達目標】

様々なPC環境での適応能力向上とデザイン思考の向上など、イメージの具現化と印刷入稿データスキルの習得を目標とします。

授業計画・内容

1回目	【Illustrator】ベジェ曲線① ベジェ曲線から構成されるロゴマーク・キャラクターなどの制作からあらゆるカタチを自由に描くテクニックを演習する。
2回目	【Illustrator】ベジェ曲線② アンカーポイントとハンドルから導き出す直線美・曲線美についての特徴と問題点、解決策他を実制作から習得する。
3回目	【Illustrator】ベジェ曲線③ ベジェ曲線で表現される図形・アウトライン文字・線など合体・切り抜きなどの効果の組合せから様々な表現技法を演習する。
4回目	【Illustrator&Photoshop】カラー設定 減法混色・加法混色・特色についてどのような特徴と問題点があるのかを実例を基に習得する。
5回目	【Illustrator&Photoshop】トリムマーク 様々な媒体で必要不可欠となるトリムマークの意味と正しいデータの制作方法を様々な媒体データを基にして演習する。
6回目	【Photoshop】画像処理① 色調補正・画像修正について様々な表現方法を演習する。
7回目	【Photoshop】画像処理② 画像の切り抜きについて様々な表現方法を演習する。
8回目	【Photoshop】画像処理③ 画像の切り抜きのテクニックと特徴と問題点や解決策など様々な媒体を基に習得する。
9回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作① 1回目～8回目までの理解度を確認しイメージの具現化と段取りがスムーズに出来ているかなどをポイントとして演習します。
10回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作② イメージを具現化するための素材・効果など、基礎・応用・表現テクニックを考え演習します。
11回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作③ レイアウトのポイント、余白のバランスなどを意識した表現方法を演習する。
12回目	【Illustrator&Photoshop】CDジャケット制作④ ブラッシュアップの重要性と印刷入稿データについて習得する。
13回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作① ベジェ曲線と文字の組合せから、用途に合わせたマップ制作の技法を習得する
14回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作② 情報の優劣を整理し用途に合わせた表示のカタチやテクニックを実習する。
15回目	【Illustrator&Photoshop】案内地図制作③&評価 線の結び目、交差点、情報、など案内図としての様々な表現方法を様々な媒体を基にして演習し習得する。
準備学習 時間外学習	様々な印刷媒体から情報の優先順位を意識して読み取り、デザインの構成要素（文字・線・図形・色調・素材）から作業段取りをイメージすることが必要です。
評価方法	出席評価50%+授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）10%+技術評価40%とする。 なお、本授業における技術評価は「レイアウトの構成力、適正データ制作」とする。
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	映像企画制IV (Video planning and production I)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	鈴木貴久
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水曜1限

【授業の学習内容】

映像制作に必要なIllustrator&Photoshopの基本的動作、デザインスキルの習得。頭に描いたビジュアルは画面を通してどれだけ正確にカタチに出来るかを考え、反復練習を繰り返す中で様々なデザインの知識と技術を制作媒体を介して習得します。
※デザイン会社を経てフリーランスとして活動。Web、広告、アミューズ（芸能プロダクション）などのファンクラブ会報などを手掛ける。

【到達目標】

様々なPC環境での適応能力向上とデザイン思考の向上など、イメージの具現化と印刷入稿データスキルの習得を目標とします。

授業計画・内容

1回目	【Illustrator】オペレーション確認。前期で学んだ基本的動作（トリムマーク・書式・ベジェ曲線・様々なテキスト書き出しなど）をポイントに演習します。
2回目	【Photoshop】オペレーション確認。一年生時に学んだ基本的動作（色調補正・効果・切り抜き・合成など）をポイントに演習します。
3回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの制作① アーティスト名を題材にオリジナルのロゴを複数案考え制作します。ロゴマークの演習から様々な考え方を習得します。
4回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの制作② ロゴマークの使用シーンを考えモックロ・カラー・特色でのテキストの作り方を演習します。
5回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開① 制作したロゴマークを使用して様々な媒体のデザイン案を5点決定し、展開を考えたデザイン演習を行います。
6回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開② 制作したロゴマークを使用して様々な媒体のデザイン案を5点決定し、展開を考えたデザイン演習を行います。
7回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開③ 画面の中のサイズ感ではなく、実サイズでのサイズ感を原寸出力から感覚を持ち、ギャップがどの位感じられるかを演習から習得します。
8回目	【Illustrator&Photoshop】ロゴマークの展開④ フラッシュアップと様々な媒体への入稿データなどを演習からポイントを習得します。
9回目	人物撮影&物撮りについてのポイントを様々な実例から構図を習得する。
10回目	紙媒体・ソーシャルメディア媒体でのレイアウトの考え方を習得する。
11回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作① B5×I2ページ オールカラー 中綴じ製本。各ページの構成要素をどの様に制作するか様々なアーティストからポイントを習得します。
12回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作② 各ページの構成要素を決め、必要素材、情報等を考えスケジュールを計画し演習します。
13回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作③ 制作素材と情報収集からどのようにすればイメージを具現化出来るかをポイントとして演習します。
14回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作④ 制作素材と情報収集からどのようにすればイメージを具現化出来るかをポイントとして演習します。
15回目	【Illustrator&Photoshop】会報誌制作⑤ イメージの具現化出来るかをポイントとして実習します。制作の具現化においてアナログ要素・デジタル要素の表現についても演習から表現の違いを習得する。
準備学習 時間外学習	様々な印刷媒体から情報の優先順位を意識して読み取り、デザインの構成要素（文字・線・図形・色調・素材）から作業段取りをイメージすることが必要です。
評価方法	出席評価50%+授業態度評価（聴く、書く、話す、制作する等の取り組み態度）10%+技術評価40%とする。 なお、本授業における技術評価は「レイアウトの構成力、適正データ制作」とする。
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アントレプレナー実践	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	立元 伸幸
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間 (単位)	150	開講区分	前期
コース	全コース				10	曜日・時限	土曜日1～5
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 専門性を持った学生に対するアイデアの創出やビジネスモデルの構築を中心としたプログラムを実施することにより、将来の産業構造の変革を起こす意欲を持つようになることを目標にする ※実務者経験 学習院大学文学部卒業後、光井精機株式会社に入職、営業技術職として勤務の傍ら企業のサポートを行いながら新入職者及び社内企業のサポートを行う。							
【到達目標】 起業の仕組みを理解し、アントレプレナーに必要となる知識を実践的に学ぶ							

授業計画・内容			
1回目	アントレプレナーとは～起業の仕組みと必要なもの～		
2回目	「ヒト・モノ・カネ」の3大経営資源を理解する		
3回目	なぜ起業するのか「目的」を明確にする		
4回目	「ビジョン」と「ターゲット」を絞り込む		
5回目	ビジネスモデルを考える～顧客セグメント・提供価値・キーアクティビティ～		
6回目	資金調達の方法を知る～国や自治体の融資制度／支援制度～		
7回目	資金調達の方法を知る～クラウドファンディングとベンチャー・キャピタル～		
8回目	起業方法と手続き		
9回目	お金の知識～管理会計の基礎知識～		
10回目	お金の知識～決算書の読み方～		
11回目	お金の知識～資金計画の立て方(事業計画書の作成)～		
12回目	お金の知識～確定申告の手続き～		
13回目	筆記試験		
14回目	ワークショップ		
15回目	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	・知識だけではなく、それを実行に移すための理解を定着させるための復習を行う		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	筆記試験 100%
受講生への メッセージ	「ヒト・モノ・カネ」を理解し、マネジメントできる人材に育てほしい		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	アントレプレナー実践	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	立元 伸幸
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間	150	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	10	曜日・時限	土曜日1～5
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 専門性を持った学生に対するアイデアの創出やビジネスモデルの構築を中心としたプログラム を実施することにより、将来の産業構造の変革を起こす意欲を持つようになることを目標にする ※実務者経験 学習院大学文学部卒業後、光井精機株式会社に入職、営業技術職として勤務の傍ら企業のサポートを行いながら新入職者及び社内企業のサポートを行う。							
【到達目標】 起業の仕組みを理解し、アントレプレナーに必要となる知識を実践的に学ぶ							

授業計画・内容			
1回目	マーケティング①～マーケティングの基本4P～		
2回目	マーケティング②～3C分析～		
3回目	マーケティング③～マーケティングプロセス(5つのプロセス)～		
4回目	マーケティング④～起業家のブランディング～		
5回目	ビジネスモデルキャンパスとは		
6回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する①～3つのプロセスを知る～		
7回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する②～個人ワーク～		
8回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する③～個人ワーク～		
9回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する④～個人ワーク～		
10回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する⑤～個人ワーク～		
11回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する⑥～個人ワークのプレゼンテーション～		
12回目	ビジネスモデルキャンパスを作成する⑨～3段階の使い方～		
13回目	筆記試験と総括		
14回目	ワークショップ		
15回目	ワークショップ		
準備学習 時間外学習	・知識だけではなく、それを実行に移すための理解を定着させるための復習を行う		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	筆記試験 50% 課題 50%
受講生への メッセージ	「ヒト・モノ・カネ」を理解し、マネジメントできる人材に育てほしい		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	映像制作Ⅰ (Video productionⅠ)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	佐藤 聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	150 10	開講区分	後期
コース	全コース	曜日・時限 木曜日 1~5限					
<p>【授業の学習内容】</p> <p>映像の企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識（PCにおけるアプリケーション知識、SNS知識・舞台基礎）を中心に行う。 ※Zepp Nagoyaでのコンサート業務に携わる。その後、フォーチュンエンターテインメント（芸能プロダクション）、各種イベント制作会社を経て、現NSM職員</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>映像制作を行う上で必要な知識・技能の習得を目指す。</p>							

授業計画・内容			
1回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）①		
2回目	文章構成・マーケティング（JFN学生ラジオCMコンテスト）②		
3回目	尺貫法・舞台大道具について①/プロモーター会社運営について		
4回目	ドラムの組み方/電源知識①/チラシコーディネート		
5回目	道具の種類・使い方について		
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識①/カラーコーディネート知識		
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）①		
8回目	台本の読み取り方・メモの取り方・活用方法		
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について①（Twitter・Youtubeなど）		
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について②補足：データフォーマットに関して		
11回目	機材端子/電源について②		
12回目	楽器基礎知識について/電源について②		
13回目	舞台制作①/道具についておさらい		
14回目	舞台制作②/道具についておさらい		
15回目	照明予備知識について①		
準備学習 時間外学習	課題提出あり		
評価方法	小テスト（20%） 課題成果（70%） 実地試験（10%）	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ			
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc</p>			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	映像制作Ⅱ (Video productionⅡ)	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	佐藤 聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業	講義	総時間	150	開講区分	後期
コース	全コース	形態	演習	(単位)	10	曜日・時限	木曜日 1～5限
<p>【授業の学習内容】</p> <p>映像の企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識（PCにおけるアプロケーション知識、SNS知識・舞台基礎）を中心に行う。 ※Zepp Nagoyaでのコンサート業務に携わる。その後、フォーチュンエンターテインメント（芸能プロダクション）、各種イベント制作会社を経て、現NSM職員</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>映像制作を行う上で必要な知識・技能の習得を目指す。</p>							

授業計画・内容		
1回目	タイムスケジュール・進行表作成①	
2回目	タイムスケジュール・進行表作成②	
3回目	尺貫法・舞台大道具について②	
4回目	HP制作技術講座①	
5回目	HP制作技術講座②	
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識②	
7回目	音源データ作成知識（Garageband etc）③	
8回目	音源データ作成知識（Garageband etc）④	
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について③（Twitter・Youtubeなど）	
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について④補足：データフォーマットに関して復習	
11回目	大道具舞台組み実習①	
12回目	大道具舞台組み実習②	
13回目	野外設営知識①	
14回目	野外設営知識②	
15回目	照明予備知識について②	
準備学習 時間外学習	課題提出あり	
評価方法	小テスト（20%） 課題成果（70%） 実地試験（10%）	<small>評価方法はGPA制度となります</small> 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生への メッセージ		
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc</p>		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニング (Ear Training)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	西村 守
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース			4	曜日・時限	木4.5	
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、身の回りの音から創造力を習得する。 ※実務者経験: 串田アキラ、宮内タカユキのサポートギタリストを務める。グレン・ソーベル(インペリテリ、トニー・マカパイン)等と共に師の教則DVDのレコーディング、LIVEシューティングに参加。楽器メーカーのモニター・デモンストレーターとしても活躍。							
【到達目標】 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。							

授業計画・内容		
1回目	3、4拍子のビート感覚がわかる。2度の音程が歌える、聴き取れる。	
2回目	全音、半音の違い、8分音符、C～Eの音を聴き取れる。	
3回目	M.mの意味が理解できる。1、8度を聴き取れる。歌える。	
4回目	短いフレーズを覚えて楽譜にできる。異名同音の存在が理解できる。M.mの音程が歌える、聴ける。	
5回目	簡単な楽譜を見て音を想像できる。	
6回目	確認テスト	
7回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。	
8回目	4分休符、8分休符をビートの中で感じられる。	
9回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。	
10回目	順次進行でC～Gまでの音を聴き分け記譜できる。	
11回目	16ビート上で正確に叩ける。	
12回目	16ビート上で正確に叩ける。	
13回目	メジャーコード、マイナーコードを歌える、聴き取れる。	
14回目	テスト対策週	
15回目	テスト	
準備学習 時間外学習		
評価方法	試験80%、出席・授業態度 20%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ		
【使用教科書・教材・参考書】 教科書、iPad、授業プリント		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	イヤートレーニング (Ear Training)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	西村 守
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	木4.5
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 作曲に必要なリズム音程の聞き取りを習得する。 音を聞き分けたり、音程感やリズム感を養うものとして、 身の回りの音から創造力を習得する。 ※実務者経験: 串田アキラ、宮内タカユキのサポートギタリストを務める。グレン・ソーベル(インペリテリ、トニー・マカパイン)等と共に師の教則DVDのレコーディング、LIVEシューティングに参加、楽器メーカーのモニター・デモンストレーターとしても活躍。							
【到達目標】 音を聞き取り、楽譜を正確に書ける。							

授業計画・内容													
1回目	マイナースケールを感じて歌うことができる。												
2回目	コードの聞き分けができる。												
3回目	臨時記号が入ったメロディーを聴いて記譜できる。												
4回目	タイが入ったメロディーを聴いて記譜できる。												
5回目	テスト対策(まとめ)												
6回目	確認テスト												
7回目	Fclefの音を聴き記譜できる。												
8回目	Fclefの音を聴き記譜できる。												
9回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。												
10回目	リズムの入ったメロディーを聴いて記譜できる。												
11回目	2声のメロディーを聞き分けることができる。												
12回目	2声のメロディーを聞き分けることができる。												
13回目	テスト対策(まとめ)												
14回目	テスト												
15回目	テスト返却 復習												
準備学習 時間外学習													
評価方法	試験80%、出席・授業態度 20% <table style="font-size: small; margin-left: 20px;"> <tr><td colspan="2">評価方法はGPA制度となります</td></tr> <tr><td>100~90点</td><td>S</td></tr> <tr><td>89~80点</td><td>A</td></tr> <tr><td>79~70点</td><td>B</td></tr> <tr><td>69~60点</td><td>C</td></tr> <tr><td>59点以下</td><td>F不合格</td></tr> </table>	評価方法はGPA制度となります		100~90点	S	89~80点	A	79~70点	B	69~60点	C	59点以下	F不合格
評価方法はGPA制度となります													
100~90点	S												
89~80点	A												
79~70点	B												
69~60点	C												
59点以下	F不合格												
受講生への メッセージ													
【使用教科書・教材・参考書】 教科書、iPad、授業プリント													

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	インストルメンツ (instruments)	必修 選択	選択必修	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	土曜4.5
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)</p> <p>Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。</p> <p>〈講師プロフィール〉</p> <p>日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ、etc.と数々のアーティストと共同制作。</p>							
<p>【到達目標】</p> <p>DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。</p>							

授業計画・内容															
1回目	授業内容説明、1学年の復習														
2回目	色々な楽曲の分析①コード進行、メロディを理解出来る														
3回目	色々な楽曲の分析②コード進行、メロディを理解出来る														
4回目	色々な楽曲の分析③アレンジが出来る														
5回目	色々な楽曲の分析④アレンジが出来る														
6回目	色々な楽曲の分析⑤アレンジが出来る														
7回目	色々な楽曲の分析⑥歌詞を理解出来る														
8回目	色々な楽曲の分析⑦歌詞を理解出来る														
9回目	楽曲の制作①Logicを使用できる														
10回目	楽曲の制作②Logicを使用できる														
11回目	楽曲の制作③Logicを使用できる														
12回目	楽曲の制作④Logicを使用できる														
13回目	自分たちが作った楽曲の発表、分析														
14回目	前期の授業の復習														
15回目	実技テスト														
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。														
評価方法	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 定期試験 (%)</td> <td style="width: 50%;">評価方法はGPA制度となります</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト (%)</td> <td>100~90点 S</td> </tr> <tr> <td>3. レポート (%)</td> <td>89~80点 A</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果 (%)</td> <td>79~70点 B</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験 (%)</td> <td>69~60点 C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>59点以下 F 不合格</td> </tr> </table>	1. 定期試験 (%)	評価方法はGPA制度となります	2. 小テスト (%)	100~90点 S	3. レポート (%)	89~80点 A	4. 課題成果 (%)	79~70点 B	5. 実地試験 (%)	69~60点 C		59点以下 F 不合格	実技テスト (提示された課題に沿って楽曲制作ができるか)	
1. 定期試験 (%)	評価方法はGPA制度となります														
2. 小テスト (%)	100~90点 S														
3. レポート (%)	89~80点 A														
4. 課題成果 (%)	79~70点 B														
5. 実地試験 (%)	69~60点 C														
	59点以下 F 不合格														
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。														
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター</p>															

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	インストルメンツ (instruments)	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	土曜4.5

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。
 〈講師プロフィール〉
 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ、etc.と数々のアーティストと共同制作。

【到達目標】
 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。

授業計画・内容

1回目	前期の授業の復習
2回目	Logicを使った楽曲の制作①テーマ、コンセプトを理解する
3回目	Logicを使った楽曲の制作②コード進行、メロディを理解出来る
4回目	Logicを使った楽曲の制作③コード進行、メロディを理解出来る
5回目	Logicを使った楽曲の制作④アレンジが出来る
6回目	Logicを使った楽曲の制作⑤アレンジが出来る
7回目	Logicを使った楽曲の制作⑥アレンジが出来る
8回目	Logicを使った楽曲の制作⑦アレンジ、作詞を分析出来る
9回目	Logicを使った楽曲の制作⑧アレンジ、作詞を分析出来る
10回目	Logicを使った楽曲の制作⑨アレンジ、歌録りが出来る
11回目	Logicを使った楽曲の制作⑩Mixが出来る
12回目	Logicを使った楽曲の制作⑪マスタリングが出来る
13回目	Logicを使った楽曲の制作⑫Mix、マスタリングが出来る
14回目	後期の授業の復習
15回目	実技テスト

準備学習
 時間外学習
 授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。

評価方法	1. 定期試験 (%) 2. 小テスト (%) 3. レポート (%) 4. 課題成果 (%) 5. 実地試験 (%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F 不合格	実技テスト (提示された課題に沿って楽曲制作ができるか)
------	---	---	------------------------------

受講生へのメッセージ
 最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。

【使用教科書・教材・参考書】
 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	インターンシップ	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	日比野賢司
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間 (単位)	300	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 業界の一員として、実務を経験する。社会人基礎力を身に着ける。 研修日誌記入を通して、実務報告をする。 ※実務者経験: 名古屋コミュニケーションアート専門学校卒業。大手楽器メーカードラム講師、自身のバンド活動やサポートミュージシャンとして活躍、2015年CDデビュー。現在名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校にてヴォーカル、楽器、クリエイターを担当。							
【到達目標】 現場での実務を通して、職業人としての身構え・気構え・心構えを習得する。							

授業計画・内容			
1回目	研修ガイダンス(研修届、研修日誌の記入について)		
2回目	履歴書の記入		
3回目	面接練習		
4回目	職場でのマナー、報告連絡相談		
5回目	業界研修1		
6回目	業界研修2		
7回目	業界研修3		
8回目	業界研修4		
9回目	業界研修5		
10回目	業界研修6		
11回目	業界研修7		
12回目	業界研修8		
13回目	業界研修9		
14回目	業界研修10		
15回目	振り返り・レポート提出		
準備学習 時間外学習	ビジネスマナーの予習、研修日誌を記入し業務態度を振り返る		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技課題100%
受講生への メッセージ	正しいビジネスマナーを学び、人とのコミュニケーションを楽しみながら学んでほしい。		
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	インテンシブパフォーマンス	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース			4	曜日・時限	水曜5.6	
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月~NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行っている)							
【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	2年次の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が自分で理解し出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックのレパトリーを増やしパフォーマンスができるようになる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	1年次よりレベルをあげたステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	パフォーマンスに緩急を付けることができるようになる
8回目	振り付けに合わせて、どんな歌唱パフォーマンスがあるか検証し、歌唱パフォーマンスができるようになる
9回目	自分で振り付け、ステージパフォーマンスを考えることができる
10回目	自分で付けた振り付けに合わせて、歌唱パフォーマンスを行うことができる
11回目	事前に選択した曲1コーラスヴォーカルパフォーマンスができるようになる
12回目	歌唱パフォーマンスのクオリティを高めることができるようになる
13回目	自分の振り付け、歌唱パフォーマンスを見直し、クオリティの高いパフォーマンスができるようになる
14回目	事前に選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	インテンシブパフォーマンス	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	西野 恭平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水曜5,6
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ダンスヴォーカルとして必要な実戦に活かせる知識を習得する。自らスキル向上、調整を行えるようにアーティストマインドについても習得する。*実務経験(Dance & Vocal):WDC東北予選POP SIDE 優勝、アメリカNYC「BATTLE 101」BEST 8、その他、優勝8回、準優勝5回の経歴有り2019年ヴォーカルグループ「イエローソーダ」として東京、名古屋、京都、群馬の4都市ツアー開催、2019年9月NY Apollo Theater Amateur Night Audition 合格、2018/9/10 1st ALBUM CD「MUSEUM」リリース、名古屋市民会館 EX SHOW2017出演 (2018年4月～NSM,DA,TSM渋谷にてVocal&Dance講師を行っている)							
【到達目標】 ステージパフォーマンス強化を目的とする。ダンスにヴォーカルを融合させた場合のステージングスキル、ヴォーカルスキル、ダンススキル、セルフプロデュース力を向上することができる。							

授業計画・内容	
1回目	卒業まで、卒業後の個人目標設定を行い意識を高めることができる
2回目	腹式呼吸が出来るようになる
3回目	ステージでのマイクテクニックを知ることができる
4回目	パフォーマンスに緩急を付けられるようになる1(アイソレーション、ヒット、ウォークアウト)
5回目	簡単な動きをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
6回目	簡単なステップをつけながら、歌唱パフォーマンスを行うことができる
7回目	昨今のミュージックシーンに、多大な影響を与えているダンスジャンルPOPPINGの基礎を身につけることができる
8回目	アイソレーション、ポップ、サイドスライドを身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
9回目	ストレッチ、振り付け8X4を身につけ、歌唱パフォーマンスが出来るようになる
10回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げるヴォーカルが引き立つ演出を中心に制作することができる
11回目	ストレッチ、セルフプロデュースパフォーマンスを作り上げスキルアップをすることができる
12回目	服装、角度、ポーズ、パフォーマンスを様々なバリエーションでパフォーマンスが出来るようになる
13回目	改善点を見つけ、どのようにすると良くなるか反復練習し、クオリティの高い歌唱パフォーマンスが出来るようになる
14回目	事前を選択した曲を1コーラスヴォーカルパフォーマンスをし、課題を見つけることができる
15回目	テストを実施し自分のスキルを知ることができる
準備学習 時間外学習	※授業の注意事項 ・パフォーマンスを行いたい曲を事前に決めて歌詞を暗記して来ること。 ・歌詞をノートに書いて持って来ること。
評価方法	1. 出席・授業態度(40%) 2. 実地試験(60%)
受講生への メッセージ	歌を上手くなるには時間が掛かります。また、パフォーマンスをする事で思い通りに歌うことが出来ないことがあります。それらを改善し、効率的なパフォーマンススキルの飛躍をお手伝いさせていただきます。一緒に頑張りましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 iPad(カラオケ音源) ワイヤレスマイク ダミーマイク	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	オーディオエンジニアリング I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉川 豊
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	月曜3,4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) レコーディングを行って行く上での基礎を実際にその知識が必要となる場面を交え、難しい取説や回路図など使わずにスキルを習得する。 実務者経験:株式会社ヒットキット代表。SPITZ、桜井和寿、GUKU-MC、清水翔太、高畑充希、コトリンゴ、小柳ゆき、どぶろっく、LUV K RAFT、天童よしみ等、ジャンルを問わず数々のレコーディングに参加。							
【到達目標】 コンソール、protocolsを使い生楽器の録音ができるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	スタジオシステムを説明出来る	
2回目	実際に音を出し、どのような信号の流れで録音されているのかを説明出来る	
3回目	ケーブルの種類とマイクの種類を説明出来る	
4回目	コンソール 信号の流れを説明出来る	
5回目	マルチマイク録音時の注意点とセッティングを説明出来る	
6回目	コンソール SSLの特徴を説明出来る	
7回目	コンソール 各パーツの役割を説明出来る	
8回目	マイキングをを説明出来る	
9回目	録音レベルの取り方 HAの詳細な使い方とフィルターの使い方を説明出来る	
10回目	コンプレッサーとリバーブの使い方を説明出来る	
11回目	protocolsテクニックの習得	
12回目	protocolsテクニックの演習を行う(効率のよい操作を習得)	
13回目	protocolsテクニックの演習を行う(プラグインの使い方を習得)	
14回目	protocolsテクニックの演習を行う(auto tuneを習得)	
15回目	習熟度テストを行う	
準備学習 時間外学習	ヒットチャートbest10に入ってる曲は常に聴いておいてください。 時間がある時はひたすらprotocolsでEDITの練習をしてください。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 実施試験(100%)
受講生への メッセージ	好きな事を仕事にするのには、難しい事を沢山覚えなければならない。 難しい事を遊び感覚で楽しんで、できるように工夫する事が使い方の難しい機材を覚えていく上でのコツ。 自分の好きなCDを靴に最低3枚は必ず入れて持ち歩いてください。 家で聞き慣れたCDをスタジオの良いモニター環境で空いてる時間は常に聴いてください	
【使用教科書・教材・参考書】 CD		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	オーディオエンジニアリング I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	吉川 豊
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	月曜3,4限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) レコーディングを行って行く上での基礎を実際にその知識が必要となる場面を交え、難しい取説や回路図など使わずにスキルを習得する。 実務者経験:株式会社ヒットキット代表。SPITZ、桜井和寿、GUKU-MC、清水翔太、高畑充希、コトリンゴ、小柳ゆき、どぶろっく、LUV K RAFT、天童よしみ等、ジャンルを問わず数々のレコーディングに参加。</p> <p>【到達目標】 コンソール、protocolsを使い生楽器の録音ができるようになる。</p>							

授業計画・内容		
1回目	復習 スタジオシステムを操作出来る	
2回目	protocolsテクニックの演習を行う	
3回目	protocolsテクニックの演習を行う	
4回目	protocolsテクニックの演習を行う	
5回目	protocolsテクニックの演習を行う	
6回目	コンソール SSLを使った演習を行う	
7回目	コンソール SSLを使った演習を行う	
8回目	コンソール SSLを使った演習を行う	
9回目	コンソール SSLを使った演習を行う	
10回目	レコーディング 素材や人材を用いて演習を行う	
11回目	レコーディング 素材や人材を用いて演習を行う	
12回目	レコーディング 素材や人材を用いて演習を行う	
13回目	レコーディング 素材や人材を用いて演習を行う	
14回目	レコーディング 素材や人材を用いて演習を行う	
15回目	習熟度テストを行う	
準備学習 時間外学習	ヒットチャートbest10に入ってる曲は常に聴いておいてください。 時間がある時はひたすらprotocolsでEDITの練習をしてください。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 実施試験(100%)
受講生への メッセージ	好きな事を仕事にするのには、難しい事を沢山覚えなければならない。 難しい事を遊び感覚で楽しんで、できるように工夫する事が使い方の難しい機材を覚えていく上でのコツ。 自分の好きなCDを靴に最低3枚は必ず入れて持ち歩いてください。 家で聞き慣れたCDをスタジオの良いモニター環境で空いてる時間は常に聴いてください	
【使用教科書・教材・参考書】 CD		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山下 将司
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる 4. 目指す業界を理解し、その特徴を説明できる 5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる 							

授業計画・内容	
1回目	集団(クラス)づくりの理解と実践 (集団の中での自己の学校生活の土台づくりを行う)
2回目	サポートアンケート実施。その他のインフォメーション 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
3回目	学園祭を盛り上げるためにはどうすれば良いか?「集団での役割」の理解と実践
4回目	ネットリテラシー「集団での役割」の理解と実践
5回目	「集団での役割」の理解と実践 <学園祭準備活動>
6回目	グループワーク:業界が求める人材を理解し、自己の目標を設定する
7回目	グループワーク:業界研究と自己の進路を考える ①
8回目	グループワーク:人としての「在り方・生き方」を考え、自己の進むべき方向を定める
9回目	グループワーク:希望進路を達成するための人間力を理解し、自己の現状を振り返りを行う
10回目	グループワーク:夢への一歩を踏み出す勇気を身につける
11回目	グループワーク:業界研究と自己の進路を考える ②
12回目	グループワーク:セルフマネジメント(自己理解)とチームマネジメント(協働作業)の振り返りを行う
13回目	グループワーク:振り返りとこれからの目標設定を行う
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山下 将司
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。
 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】

1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. プロフィールシート作成ができるようになる

授業計画・内容

1回目	自己理解 ① 働く意義(勤労観・職業観)を理解し考える
2回目	自己理解 ② 自己PR/プロフィールシート作成 <自己PR・趣味特技>
3回目	自己理解 ③ 自己PR/プロフィールシート作成 <専門分野・関心事>
4回目	自己理解 ④ 自己PR/プロフィールシート作成 <志望動機・立志作文>
5回目	企業研究 ① 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ①
6回目	企業研究 ② 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ②
7回目	企業研究 ③ 新人発掘プレゼンテーションに向けての準備を行う ③
8回目	社会人準備 ① 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
9回目	社会人準備 ② 夢をかなえた先輩たちの「行動の原則 + α」を学ぶ
10回目	社会人準備 ③ マネー教育(収入と支出のバランスを学ぶ)
11回目	「集団での役割」の理解と実践 ① <WeareNSM準備活動>・自己理解と進級発表の準備を行う ①
12回目	「集団での役割」の理解と実践 ② <WeareNSM準備活動>・自己理解と進級発表の準備を行う ②
13回目	進級発表 リハーサル
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山下 将司
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる 4. 目指す業界を理解し、その特徴を説明できる 5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる 							

授業計画・内容	
1回目	クラスのノームの意識付を行い「学生生活の基盤」を作る、クラス目標の作成を行う
2回目	「主体性」: 状況を読みとり自分のすべきことを見つけて行動することが出来るようになる
3回目	起こり得る学校行事においての学生の状況やモチベーションを説明し、計画的に主体的行動がとれるよう考えさせる
4回目	「傾聴力」: 人の話を聞くことの重要性を知り、相手との信頼関係を作ることから仕事とは何かを知る
5回目	「発信力」: 伝える内容をわかりやすく伝える力を学ぶ
6回目	「傾聴力」「発信力」をワークショップ形式で実践させ講義で覚えるだけでなく行動出来るようにする
7回目	イベントスタッフとして活動する上での言葉遣いやマナーを学ぶ
8回目	学園祭やイベントを通じて自分自身の課題を発見し、解決していく力を養う
9回目	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ
10回目	「計画力」: 計画的に行動する力を学ぶ
11回目	「実行力」: 目標を設定して着実に行動する力を学ぶ
12回目	「課題発見力」: 今の状況から課題を見つける力を学ぶ
13回目	夏休みに入るにあたり現場での態度・マナーや「明日への扉」について説明しやる気や成長に繋げる
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
<p>【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山下 将司
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。
 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】

1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
3. プロフィールシート作成ができるようになる

授業計画・内容

1回目	合同企業説明会を前にして仕事という理解を深めると共に社会の中での自分の役割とは何かを考える
2回目	「チームワーク力」:現状と役割を理解して協力し合う大切さを学ぶ
3回目	「働きかけ力」:自分から進んで取り組む力、チームワーク力と共に必要であることを学ぶ
4回目	「創造力」:新しい価値を生み出す力をグループワークショップ方式で学ぶ
5回目	ジョブカードを用い、職業理解を深める
6回目	【履歴書の書き方】これまで取り組んできた学内イベントを整理し、自らの経験を伝えられるようになる
7回目	【履歴書の書き方】自分について伝えられるようになるため自己理解を深め客観視出来るようになる
8回目	【履歴書の書き方】ジョブカード作成内、自分の長所・短所が伝えられるようになる
9回目	エンターテイメント業界で活躍している企業の方をお招きし、職種や働き方を学ぶ
10回目	日常スコアシートを用い、仕事の上での自分の特性を知り自己理解を深める
11回目	SMBCファイナンスの方をお招きし、マネー講座を開催、社会人になった時に掛かるお金について学ぶ
12回目	社会に出る際のビジネスマナー・身なり・挨拶の大切さを学ぶ
13回目	社会に出る際のビジネスマナー・メールのやり取り・座席位置
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】	
筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山下 将司
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。
 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネジメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネジメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。

【到達目標】
 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる
 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる
 3. 自己の働く意義(勤労観・職業観)を説明できる
 4. 目指す業界を理解し、その特徴を説明できる
 5. 自己実現(夢をかなえる)のための目標設定をし実践できる

授業計画・内容

1回目	新社会人の心得ワーク
2回目	ハートビーイングワーク
3回目	10年後の目標の立て方
4回目	5年後の目標の立て方
5回目	3年後の目標の立て方
6回目	自分の世界観をまとめていく方法
7回目	キューブを使ってのコミュニケーションワーク
8回目	アンケート形式、プレゼンテーション
9回目	グループワークを活用し良い習慣を習得する
10回目	自分の世界観をまとめていく方法、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
11回目	キューブを使ってのコミュニケーションワーク、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
12回目	アンケート形式、プレゼンテーション、セルフプレゼンテーション自主確認。
13回目	ハートビーイングワーク、セルフプレゼンテーション自主確認。
14回目	ミュージカル演習 リハーサル
15回目	ミュージカル演習 本番

準備学習
 時間外学習
 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く
 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する
 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する
 4. 事前課題など各種レポートを書く

評価方法
 1. 課題成果(50%)
 2. 出席率(50%)

受講生への
 メッセージ
 自分の強みを武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
 筆記用具
 iPad

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	キャリア教育	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山下 将司
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、様々な科目で学んだ専門力を総合的に発揮するために、自分自身の将来の進路並びに、自分らしく生きる道を見つけるために、主体的に考え行動し本校で何を学び、学校生活をどのように過ごせばよいのかという「気づき」を与え、キャリア教育の一環として、クラスメイト・担任とのコミュニケーションを図り、社会人となる心構えやホスピタリティ(思いやりの心)を理解し、セルフマネジメント(自己管理)とチームマネジメント(協働作業)が実践的にできるようになるための科目である。 ※実務者経験:シンガーソングライター「春翠」のギタリスト、マネージメントサポートとして、Live Like a Lilyレーベルよりリリース。その他演奏サポートやインストラクター、PAエンジニアやアーティストマネージメントなど、名古屋を中心に多岐にわたって活動。							
【到達目標】 1. セルフマネジメント(自己理解)を実践できる 2. チームマネジメント(協働作業)を実践し、集団での役割を果たすことができる 3. プロフィールシート作成ができるようになる							

授業計画・内容	
1回目	新社会人の心得を使用し復讐を行う。
2回目	ハートビーイングワーク、セルフプレゼンテーション自主確認。
3回目	10年後の目標の立て方
4回目	5年後の目標の立て方
5回目	3年後の目標の立て方
6回目	自分の世界観をまとめていく方法
7回目	キューブを使つてのコミュニケーションワーク、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
8回目	セルフプレゼンテーション自主確認。
9回目	キューブを使つてのコミュニケーションワーク
10回目	自分の世界観をまとめていく方法、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
11回目	キューブを使つてのコミュニケーションワーク、新社会人の心得を使用し復讐を行う。
12回目	アンケート形式、プレゼンテーション、セルフプレゼンテーション自主確認。
13回目	ハートビーイングワーク、セルフプレゼンテーション自主確認。
14回目	進級発表 リハーサル
15回目	進級発表 本番
準備学習 時間外学習	1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	自分の強味を武器に自分らしさとは何かを発見していきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	水曜1

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
主にメジャーダイアトニックコードについて、またコード進行制作の基礎を習得
(講師プロフィール) 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
ダイアトニックコードの理解とコードトーン
ダイアトニックコードを使用したコード進行を制作できるようになる

授業計画・内容

1回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得
2回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコードを使ったコード進行と定番のコード進行を習得
3回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード、コードトーンを使ったメロディーについてを習得
4回目	Key of G・Dのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得
5回目	Key of A・E・Fのメジャーダイアトニックコード(3和音)とディグリーネームについてを習得
6回目	メジャーダイアトニックコードについての復習
7回目	中間テスト
8回目	Key of Cのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、ディグリーネームを使った演習
9回目	#系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ(移調)を習得
10回目	b系Keyのメジャーダイアトニックコード4和音について、コード進行作成演習、キーチェンジ(移調)を習得
11回目	sus4コードの紹介と使用法を習得
12回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
13回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
14回目	メジャーダイアトニックコードを使ったコード進行制作演習と期末試験の課題発表し制作を行う
15回目	実技テスト

準備学習
時間外学習

授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。
授業で習った事を実践してみましょう。

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか)
------	--	--	------------------------------

受講生への
メッセージ

- 1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。
- ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。
- 各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。
- DAW(ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	必修 選択	年次	1年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	水曜1

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
主にメジャーダイアトニックコードの復習にあわせサブドミナントマイナーコードについて、またコード進行制作とメロディーのアナライズを行う事により、楽曲制作の基礎を習得。Bluesなど特殊なコード進行についても学び、音楽の視野を広げる。
<講師プロフィール>日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。

【到達目標】
ダイアトニックコードとノンダイアトニックコードを理解しコード進行制作ができる
楽曲のアナライズ(コード進行・メロディーライン)が行えるようになる

授業計画・内容

1回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得
2回目	メジャーダイアトニックコードとポピュラーミュージックでよく出るサブドミナントマイナーコードを習得
3回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う
4回目	サブドミナントマイナーの入るコード進行でのメロディーの制作を行う
5回目	II m7-V7進行を習得
6回目	II m7(b5)-V7(b9)進行を習得
7回目	中間テスト
8回目	Blues進行を習得
9回目	Blues進行とJazz Bluesを習得
10回目	II m7-V7を使用したコード進行についてを習得
11回目	II m7-V7を使用したコード進行について実践できる
12回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)①
13回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)②
14回目	コード進行とメロディーラインの関係について(アナライズ・分析演習)③
15回目	期末テスト

準備学習
時間外学習

授業内で紹介されたアーティストの楽曲を聴いておきましょう。
授業で習った事を実践してみましよう。

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に沿って、楽曲制作ができるか)
------	--	--	------------------------------

受講生への
メッセージ

- 1曲でも多く曲を書く事が大切です。不恰好でも良いので沢山曲を作り、それを録音(保存)しておくようにしましょう。
- ヒット曲や有名な曲を常に聴くように心がけてください。
- 各自が手に取る楽器や歌のスキルも上げるようにしておきましょう。そのことが作曲をする上で重要になってきます。
- DAW(ProTools、Logic etc)の扱い方も勉強しておきましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜1.2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	授業内容説明、DTMでの作業及び作曲の手順について、PCの立ち上げ、セッション作成、保存を理解できる		
2回目	Logic, GarageBand① 機能の説明/302講習 8の字巻きが出来る		
3回目	Logic, GarageBand② 機能の説明、ツールを理解出来る		
4回目	Logic, GarageBand③ 打ち込み練習(Drum)・トラックスタックを習得		
5回目	Logic, GarageBand④ 打ち込みが出来る(Drum, Bass)		
6回目	Logic, GarageBand⑤ 打ち込みが出来る(Drum, Bass, Piano)		
7回目	Logic, GarageBand⑥ 打ち込みが出来る(Drum, Bass, Piano, Guitar)		
8回目	Logic, GarageBand⑦ 打ち込みが出来る		
9回目	Logic, GarageBand⑦ Plug inの基本、説明(AUX, BUS)が理解できる		
10回目	Logic, GarageBand⑧ Plug inの説明(Reverbとその種類)が理解できる		
11回目	Logic, GarageBand⑨ Plug inの説明(Compressor, EQ)が理解できる		
12回目	Logic, GarageBand⑩ Plug inの復習		
13回目	Logic, GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る		
14回目	Logic, GarageBand⑩ Plug inの応用が出来る		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	選択必修	年次	2年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	木曜3.4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わる。							
【到達目標】 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	マイクの種類について理解できる	
2回目	色々な種類のマイクを使った録音ができる	
3回目	音質(ビットレート)・圧縮データ/非圧縮データ・バウンスについて理解できる	
4回目	オートメーションを書く(strings EQ)拍子・BPMの切り替えができる	
5回目	自身の曲の曲作り	
6回目	自身の曲の歌どりが出来る	
7回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得	
8回目	Melodyneを使ったピッチ修正を習得	
9回目	簡単Mix① 音量と配置を理解出来る	
10回目	簡単Mix② CompressorとEQを使う事が出来る	
11回目	簡単Mix③ 空間系プラグインを使う事が出来る(reverb他)	
12回目	①②③を実際に応用できる	
13回目	①②③を実際に応用できる	
14回目	これまでの授業の復習、応用	
15回目	実技テスト	
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜1.2限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作 【到達目標】 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容		
1回目	授業内容説明、1学年の復習	
2回目	色々な楽曲の分析①コード進行、メロディを理解出来る	
3回目	色々な楽曲の分析②コード進行、メロディを理解出来る	
4回目	色々な楽曲の分析③アレンジが出来る	
5回目	色々な楽曲の分析④アレンジが出来る	
6回目	色々な楽曲の分析⑤アレンジが出来る	
7回目	色々な楽曲の分析⑥歌詞を理解出来る	
8回目	色々な楽曲の分析⑦歌詞を理解出来る	
9回目	楽曲の制作①Logicを使用できる	
10回目	楽曲の制作②Logicを使用できる	
11回目	楽曲の制作③Logicを使用できる	
12回目	楽曲の制作④Logicを使用できる	
13回目	自分たちが作った楽曲の発表、分析	
14回目	前期の授業の復習	
15回目	実技テスト	
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 実技テスト(提示された課題に沿って楽曲制作ができるか)
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。	
【使用教科書・教材・参考書】 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ソングライティング (songwriting)	必修 選択	選択必修	年次	3年	担当教員	野崎 貴潤
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜3.4限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) Logic, GarageBandを使い基本的なDTMの知識、扱い方を学び、打ち込みの技術を身につける。 <講師プロフィール> 日本大学芸術学部音楽学科で作曲を学ぶ。作編曲からRe-Mix、Recording、Mix、Masteringまでデジタルとアナログ双方を駆使したトータルなサウンド・プロデュースを行う。これまで小島麻由美、ICE、Fayray、広瀬香美、SOON、ゴスペラーズ等数多くの作品に携わっている。							
【到達目標】 DTMの基本的な操作方法を身につけ、自身の曲のデモバージョンを打ち込めるようになる。							

授業計画・内容			
1回目	前期の授業の復習		
2回目	Logicを使った楽曲の制作①テーマ、コンセプトを理解する		
3回目	Logicを使った楽曲の制作②コード進行、メロディを理解出来る		
4回目	Logicを使った楽曲の制作③コード進行、メロディを理解出来る		
5回目	Logicを使った楽曲の制作④アレンジが出来る		
6回目	Logicを使った楽曲の制作⑤アレンジが出来る		
7回目	Logicを使った楽曲の制作⑥アレンジが出来る		
8回目	Logicを使った楽曲の制作⑦アレンジ、作詞を分析出来る		
9回目	Logicを使った楽曲の制作⑧アレンジ、作詞を分析出来る		
10回目	Logicを使った楽曲の制作⑨アレンジ、歌録りが出来る		
11回目	Logicを使った楽曲の制作⑩Mixが出来る		
12回目	Logicを使った楽曲の制作⑩マスタリングが出来る		
13回目	Logicを使った楽曲の制作⑪Mix、マスタリングが出来る		
14回目	後期の授業の復習		
15回目	実技テスト		
準備学習 時間外学習	授業の内容が難しいことが多いため、毎回の復習が必要になります。		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に沿って楽曲制作ができるか)
受講生への メッセージ	最近ではDTMを扱えるミュージシャンが増えてきているため、毎回の授業の中で理解度を高め、しっかりと学習をしてください。		
【使用教科書・教材・参考書】 楽曲の譜面・音源・iPad・鍵盤楽器もしくはギター			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	コンポジションプロジェクト I (Composition Project)	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	井上 直
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	月曜5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的に且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。 ※実務者経験:株式会社ポニーキャニオン所属 主業務はコンピューター&キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。							
【到達目標】 ◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。 ◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。 ◆著作物を扱うリテラシーを習得する。 ◆本授業通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。							

授業計画・内容												
1回目	【オリエンテーション】卒業制作のレギュレーションとフローの説明、目標設定発表、グループ決め、スケジュール表を制作する											
2回目	【講義】CDのメリットデメリット、配信のメリットデメリット、また情報を発信できるサイトやツール・SNSの紹介・特色を分析出来る											
3回目	【コンセプトワーク】アルバムを制作するにあたり、コンセプトを明確に表記した企画書の作成が出来る											
4回目	【コンセプトワーク2】企画書、スケジュール表を提出(企画書スケジュールのリテイクあり)企画の通ったグループから作品制作演習を行う											
5回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う											
6回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※企画書提出×切											
7回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
8回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
9回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
10回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
11回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
12回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
13回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
14回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
15回目	【OC(質問事項に対する講義)】スケジュールと制作演習を行う、現地点での制作楽曲のプレゼンが出来る											
準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。											
評価方法	<table border="1"> <tr> <td>1. 定期試験(%)</td> <td>評価方法はGPA制度となります</td> <td rowspan="5">レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト(%)</td> <td>100~90点 S</td> </tr> <tr> <td>3. レポート(%)</td> <td>89~80点 A</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果(%)</td> <td>79~70点 B</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験(%)</td> <td>69~60点 C 59点以下 F不合格</td> </tr> </table>	1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)	2. 小テスト(%)	100~90点 S	3. レポート(%)	89~80点 A	4. 課題成果(%)	79~70点 B	5. 実地試験(%)	69~60点 C 59点以下 F不合格
1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)										
2. 小テスト(%)	100~90点 S											
3. レポート(%)	89~80点 A											
4. 課題成果(%)	79~70点 B											
5. 実地試験(%)	69~60点 C 59点以下 F不合格											
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。											
【使用教科書・教材・参考書】 プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。 (シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーションナリー推奨) 必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意												

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	コンポジションプロジェクト I (Composition Project)	必修 選択	必修 選択	年次	2年	担当教員	井上 直
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	月曜5,6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的に且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。 ※実務者経験:株式会社ポニーキャニオン所属 主業務はコンピューター&キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。							
【到達目標】 ◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。 ◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。 ◆著作物を扱うリテラシーを習得する。 ◆本授業通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。							

授業計画・内容												
1回目	【コンセプトワーク】アルバム制作のスケジュール確認											
2回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
3回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
4回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
5回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
6回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
7回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
8回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
9回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
10回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
11回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
12回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
13回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
14回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック											
15回目	【制作演習】CDアルバム制作、楽曲のプレゼンができる											
準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。											
評価方法	<table border="1"> <tr> <td>1. 定期試験(%)</td> <td>評価方法はGPA制度となります</td> <td rowspan="5">レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト(%)</td> <td>100~90点 S</td> </tr> <tr> <td>3. レポート(%)</td> <td>89~80点 A</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果(%)</td> <td>79~70点 B</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験(%)</td> <td>69~60点 C 59点以下 F不合格</td> </tr> </table>	1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)	2. 小テスト(%)	100~90点 S	3. レポート(%)	89~80点 A	4. 課題成果(%)	79~70点 B	5. 実地試験(%)	69~60点 C 59点以下 F不合格
1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)										
2. 小テスト(%)	100~90点 S											
3. レポート(%)	89~80点 A											
4. 課題成果(%)	79~70点 B											
5. 実地試験(%)	69~60点 C 59点以下 F不合格											
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。											
【使用教科書・教材・参考書】 プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。 (シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーションナリー推奨) 必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意												

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/イベントプロダクション プロジェクト	必修 選択	必修 選択	年次	1・2・3年	担当教員	斎須 敏治
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース			曜日・時限	火曜日2.3限		
【授業の学習内容】 アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。 ※芸能プロダクションを経て、現在フリーランスとしてプロダクションの制作実務を行う。							
【到達目標】 プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。							

授業計画・内容			
1回目	アンケート実施。生徒の好きな音楽、普段の音楽に関する市場調査実施。		
2回目	各自、題材を決め アーティストをプレゼンテーションする		
3回目	各自、題材を決め アーティストをプレゼンテーションする		
4回目	レコード会社のプロモーター基本編 アーティスト資料について学ぶ		
5回目	エイベックス創業者について学ぶ(映像視聴)		
6回目	秋元康のAKBプロジェクトを通じて、プロデュースについて学ぶ		
7回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ		
8回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ		
9回目	考える力・考える癖をつける基本 自分の意見をもつことの重要性について学ぶ		
10回目	考える力・考える癖をつける基本 自分の意見をもつことの重要性について学ぶ		
11回目	市場調査 タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する		
12回目	市場調査 タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する		
13回目	音楽業界の著名人のインタビューを考察し、レポート提出		
14回目	テスト		
15回目	総括		
準備学習 時間外学習			
評価方法	授業態度(10%) レポート(10%) 実地試験(80%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/イベントプロダクション プロジェクト	必修 選択	必修 選択	年次	1・2・3年	担当教員	藤村典子
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース			曜日・時限	水曜 1限		

【授業の学習内容】

マスメディアと宣伝、テレビ局と新聞社など音楽業界の関係性をはじめ番組制作に必要なイベント制作について学ぶ。また楽器についての知識を楽器セッティングを通じて習得する。※プロダクションである株式会社アミューズを経て、フリーランスとして名古屋を中心としたバンドマネジメント・制作を行う。

【到達目標】

番組制作に必要な各種イベント・コンサートの制作についての基礎知識を習得し、コンサート・ライブ・イベントを実施できるようにする。

授業計画・内容

1回目	授業の説明。番組制作などに必要なイベント制作の基本的な概念を学ぶ。
2回目	イベンター(プロモーター)とアーティストマネージメントの関係。コンサートスタッフの仕事について学ぶ。
3回目	プロダクション・レコードメーカーでの業務について学ぶ。
4回目	野外フェスティバル(夏フェスetc)マネージャーとしてのかかわり方を学ぶ
5回目	楽器についての知識と必要性。用語、機材についての知識を習得
6回目	楽器についての知識と必要性。ドラムなどのセッティングを習得
7回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
8回目	ライブ制作の基礎を学ぶ。コンセプト、開催時期、予算組など
9回目	現代のライブシーンを考察し、これからのライブ制作について学ぶ。
10回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
11回目	イベントの仕組みについて～企画から本番当日までの流れを学ぶ。
12回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
13回目	プロモーション～テレビ局、新聞社などマスメディアと宣伝について学ぶ
14回目	試験
15回目	総括

準備学習
時間外学習

評価方法
1. 定期試験(50%)
2. 課題提出(50%)

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	清水 正典
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	木曜5,6限

【授業の学習内容】

照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。
 ※デライト株式会社（照明会社）所属。約30年照明担当として従事している。

【到達目標】

照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容

1回目	授業内容の説明、機材説明 舞台機構
2回目	機材説明、ケーブルコネクタの説明 巻き方 色について LHQでの色の混ざり方を学ぶ
3回目	仕込み演習 I 簡単な仕込み図の見方 書き方 調光卓の操作について学ぶ
4回目	仕込み図の作成 調光卓/PINSPOTの操作について学ぶ
5回目	照明仕込み 照明シュートについて 調光卓の操作について学ぶ
6回目	照明仕込み 照明シュートについて 調光卓の操作について学ぶ
7回目	サオによる照明シュートについて学ぶ
8回目	学園祭に向けての準備。仕込み図、機材選定を行う。
9回目	学園祭での役割と反省点
10回目	ホール演習準備 役割分担
11回目	ホール演習準備 仕込み図、機材リストの確認
12回目	ホール演習 港文化小劇場 ホール説明 照明設備説明 前明かりのシュート
13回目	仕込み演習 劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
14回目	仕込み演習 劇場での仕込み時の動きについて学ぶ
15回目	ミュージカルの舞台製作の振り返り。
準備学習 時間外学習	
評価方法	実技、授業態度などを評価
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修 選択	必修 選択	年次	1・2年	担当教員	清水 正典
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜5,6限

【授業の学習内容】
 照明スタッフとして必要な基礎的な知識と技術を習得します。
 ※デライト株式会社(照明会社)所属。約30年照明担当として従事している。

【到達目標】
 照明の仕事に必要な理論や照明デザインをするための基礎的な知識を学び、演習やイベントでの実践に活かせるようになる。

授業計画・内容

1回目	前期の復習
2回目	仕込み図の作成に伴い必要な要素を学ぶ。電源、灯体、回線図など
3回目	仕込み図を作成する。
4回目	仕込み図を作成する。
5回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
6回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
7回目	仕込み図を基に、機材を仕込む
8回目	ホール演習に向けての準備。役割分担
9回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
10回目	ホール演習に向けての準備。仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
11回目	ホール演習 瑞穂文化小劇場 劇場でのオペレートを行う。
12回目	ホール演習 振り返り
13回目	卒業進級展に向けて役割分担。
14回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。
15回目	卒業進級展に向けて仕込み図作成。機材の選定、確認をチームに分けて行う。

準備学習
時間外学習

評価方法 実技、授業態度などを評価

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	黒沼 美和
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	90	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	6	曜日・時限	月曜1~3限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) ライブのムービングなどの仕込み図、DMX配線図の書き方。データの書きかた、きっかけの取り方やムービングに関わってくるDMXの基本的な作り方を身につけます。							
【到達目標】 音楽を聴き、データを作成、そのデータをもとに打ち込みが出来る様になるのが目標です。							

授業計画・内容															
1回目	挨拶/自己紹介/授業内容の説明														
2回目	仕込み図の見方/DMXの8の字巻き														
3回目	Qシート、データの書き方														
4回目	MA2の打ち込みかた①														
5回目	MA2の打ち込みかた②														
6回目	学園祭を終えて反省会/MA2の復習														
7回目	20C、DMXを分解。結線の確認														
8回目	DVDを見ながら明かりをデータ化してみる														
9回目	曲を聴いてQシート、データを作成①(15Qほど)皆同じ仕込み図														
10回目	曲を聴いてQシート、データを作成②(20Q以上)皆同じ仕込み図														
11回目	曲を聴いてQシート、データを作成③(30Q以上)皆同じ仕込み図														
12回目	DMXの作成や復習①														
13回目	DMXの作成や復習②														
14回目	前期の反省会/本番														
15回目	テスト														
準備学習 時間外学習	データを作成する時は好きな曲で大丈夫ですので、前もって曲を決めておいて下さい。														
評価方法	<table border="1"> <tr> <td>1. 定期試験(%)</td> <td>評価方法はGPA制度となります</td> <td rowspan="5">実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト(%)</td> <td>100~90点 S</td> </tr> <tr> <td>3. レポート(%)</td> <td>89~80点 A</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果(%)</td> <td>79~70点 B</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験(%)</td> <td>69~60点 C</td> </tr> <tr> <td></td> <td>59点以下 F不合格</td> <td></td> </tr> </table>	1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります	実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)	2. 小テスト(%)	100~90点 S	3. レポート(%)	89~80点 A	4. 課題成果(%)	79~70点 B	5. 実地試験(%)	69~60点 C		59点以下 F不合格	
1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります	実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)													
2. 小テスト(%)	100~90点 S														
3. レポート(%)	89~80点 A														
4. 課題成果(%)	79~70点 B														
5. 実地試験(%)	69~60点 C														
	59点以下 F不合格														
受講生への メッセージ															
【使用教科書・教材・参考書】															

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ステージ/ライティングエンジニアリング	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	黒沼 美和
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	90	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	6	曜日・時限	月曜4～6限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) オペレートだけではなく機材トラブルなどにも対処できるようにDMXなどの作成も行います。							
【到達目標】 トラブルにもすぐ対処できるのが目標です。							

授業計画・内容			
1回目	授業内容の説明/機材、ケーブルの確認		
2回目	DMXの作り方について①		
3回目	DMXの作り方について②		
4回目	MA2の打ち込み確認①&データの作成の復習(チームを2つ作り卓チームとデータに分ける)		
5回目	MA2の打ち込み確認②&データの作成の復習(チームを2つ作り卓チームとデータに分ける)		
6回目	DMXの作成①		
7回目	DMXの作成②		
8回目	DMXの作成③(状況により、9回目10回目に延長)		
9回目	メンテナンスのやり方①ムービングのレンズの拭き方		
10回目	メンテナンスのやり方②ムービングのネタの変え方		
11回目	曲を聴き仕込み図、Qシート、データの作成		
12回目	曲を聴き仕込み図、Qシート、データの作成		
13回目	曲を聴き仕込み図、Qシート、データの作成		
14回目	作ったデータで本番を想定したシミュレーション		
15回目	テスト		
準備学習 時間外学習			
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	実技テスト(提示された課題に対して正しく打ち込みができるか、また基本操作を習得しているか)
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山口 晃
学科	ダンス&アクターズ科、音楽テクノロジー科 スーパーeエンターテイメント科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	俳優・タレント専攻、声優アーティスト専攻 ミュージカル本科専攻、VTuberエンターテイメント本科専攻			(単位)	4	曜日・時限	月曜日・4限
【授業の学習内容】							
自分の身体を知るためのストレッチ。 その身体で全ての演技に必要な発声を身につける。 相手役のあるテキストにより、自分のイメージした声・滑舌ができるようになる。							
【到達目標】							
自分の身体から相手に届く発声を身につける。							
授業計画・内容							
1回目	ストレッチ・発声・シアターゲーム等を正しく理解。そのための講義。						
2回目	ストレッチ・発声により、現在の自分の実力を知る。息の体操。						
3回目	ストレッチ・発声後、シアターゲームにより相手に声を届ける。						
4回目	セリフのテキストを配布し、説明。						
5回目	セリフのテキストを本読み。						
6回目	ストレッチ・発声後、本読みでの点・丸の意味を理解。						
7回目	ストレッチ・発声後、相手役を意識し、相手に声が届くように訓練。						
8回目	ストレッチ・発声後、演技を意識した発声。						
9回目	ストレッチ・発声後、立ち稽古。						
10回目	ストレッチ・発声後、動きと連動した発声。						
11回目	ストレッチ・発声後、立ち稽古。他の演技者を見ることにより、自分を知ることができる。						
12回目	テスト。テキストの演技をする。						
13回目	前期を見返し、後期の課題を見つけることができる。						
14回目							
15回目							
準備学習 時間外学 習	授業の復習、息の体操、外郎売りを覚える						
評価方法	実技テストによる採点	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格					
受講生へ の メッセージ	あせらず、確実に。新たな自分を発見し、向上を目指す。						
【使用教科書・教材・参考書】							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンス	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山口 晃
学科	ダンス&アクターズ科 スーパー・エンターテイメント科	授業 形態	実習	総時間	60	開講区分	前期
コース	俳優・タレント専攻、声優アーティスト専攻 ミュージカル本科専攻			(単位)	4	曜日・時限	月曜日・5.6限
【授業の学習内容】							
演劇業界で必要とされる人を目指し、自分のキャラクターを発見する。 すべての授業の集大成としての演劇公演をすることで、周りの人との協調性・人間力を養い、必要とされる演技者になる。							
【到達目標】							
演劇業界で必要とされる俳優になる。							
授業計画・内容							
1回目	シアターゲームにより即興性を養う。サブテキストについて説明、理解できる。						
2回目	様々なゲームにより演劇的な即興性を養う。						
3回目	公演台本の配布・説明、それを理解。						
4回目	キャストオーディションに臨む。						
5回目	キャスト発表。自分の役での本読み。						
6回目	より詳しく、シーンを理解するための本読み。						
7回目	立ち稽古で自分の役割を知る。ミザンスを決める。						
8回目	立ち稽古により、演出を理解する。						
9回目	衣装・小道具ありの稽古。						
10回目	通し稽古をするための小返し稽古。						
11回目	通し稽古。						
12回目	本番通りの稽古。観客を意識した演技。						
13回目	反省により、今後の課題を見つける。						
14回目							
15回目							
準備学習 時間外学 習	本読み、台詞を覚える、イメージトレーニング。						
評価方法	公演の成果による採点	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格					
受講生へ の メッセージ	業界で必要とされる俳優になるため、日々の努力を！！						
【使用教科書・教材・参考書】							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンスプロジェクト (Performance Projects)	必修 選択	必修 選択	年次	1.2.3	担当教員	渡辺 智哉
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	火曜1.2

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのパートと課題曲をアンサンブルし、実際のセッションの中での立ち位置を理解し、演奏方法やパフォーマンス、インプロビゼーションの技術を習得する。課題曲を2週ごとに1曲出し、1週目はその曲のアナライズをし、2週目は実際にアンサンブルを行う。
 ※実務者経験: ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】
 アナライズまでには課題曲をしっかり聴き、できる限り自分のパートを弾けるようにしておく。アナライズでは、聴き取ってきたフレーズやリズムが合っているかの確認と訂正、音色の選択、ソロがある場合はインプロビゼーションができるようにする。アンサンブルでは実際にアナライズした内容を実践し、バンド内でのグルーブ感や、演奏力、アイコンタクトやキュー出し、パフォーマンス力を身に付ける。

授業計画・内容			
1回目	課題曲1アナライズ 楽曲の説明ができる		
2回目	課題曲1アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
3回目	課題曲2アナライズ 楽曲の説明ができる		
4回目	課題曲2アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
5回目	課題曲3アナライズ 楽曲の説明ができる		
6回目	課題曲3アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
7回目	課題曲4アナライズ 楽曲の説明ができる		
8回目	課題曲4アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
9回目	課題曲5アナライズ 楽曲の説明ができる		
10回目	課題曲5アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
11回目	課題曲6アナライズ 楽曲の説明ができる		
12回目	課題曲6アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
13回目	課題曲7アナライズ 楽曲の説明ができる		
14回目	課題曲7アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
15回目	アンサンブル総復習		
準備学習 時間外学習			
評価方法	授業態度10% 出席率10% 技テスト80%	実	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	実際のアンサンブルを通して、演奏面だけでなく、パフォーマンス力も付けてしっかりステージの上で輝けるようなミュージシャンを目指しましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	パフォーマンスプロジェクト (Performance Projects)	必修 選択	必修 選択	年次	1.2.3	担当教員	渡辺 智哉
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース			曜日・時限	火曜1.2		

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 ヴォーカル、ギター、ベース、ドラム、キーボードのパートと課題曲をアンサンブルし、実際のセッションの中での立ち位置を理解し、演奏方法やパフォーマンス、インプロビゼーションの技術を習得する。課題曲を2週ごとに1曲出し、1週目はその曲のアナライズをし、2週目は実際にアンサンブルを行う。
 ※実務者経験: ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】
 アナライズまでには課題曲をしっかり聴き、できる限り自分のパートを弾けるようにしておく。アナライズでは、聴き取ってきたフレーズやリズムが合っているかの確認と訂正、音色の選択、ソロがある場合はインプロビゼーションができるようにする。アンサンブルでは実際にアナライズした内容を実践し、バンド内でのグルーブ感や、演奏力、アイコンタクトやキュー出し、パフォーマンス力を身に付ける。

授業計画・内容			
1回目	課題曲1アナライズ 楽曲の説明ができる		
2回目	課題曲1アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
3回目	課題曲2アナライズ 楽曲の説明ができる		
4回目	課題曲2アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
5回目	課題曲3アナライズ 楽曲の説明ができる		
6回目	課題曲3アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
7回目	課題曲4アナライズ 楽曲の説明ができる		
8回目	課題曲4アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
9回目	課題曲5アナライズ 楽曲の説明ができる		
10回目	課題曲5アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
11回目	課題曲6アナライズ 楽曲の説明ができる		
12回目	課題曲6アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
13回目	課題曲7アナライズ 楽曲の説明ができる		
14回目	課題曲7アンサンブル アンサンブルの中で演奏とパフォーマンスができる		
15回目	アンサンブル総復習		
準備学習 時間外学習			
評価方法	授業態度10% 出席率10% 技テスト80%	実	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	実際のアンサンブルを通して、演奏面だけでなく、パフォーマンス力も付けてしっかりステージの上で輝けるようなミュージシャンを目指しましょう。		
【使用教科書・教材・参考書】 その都度必要な資料は渡しますが、特に用意するものではありません。			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	音楽史 (music history)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	水沼 慎一郎
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	水曜2.3限
【授業の学習内容】 実際の楽曲を通し、様々な音楽の歴史を深く学んでいく。 ※作曲家・ピアニスト 新潟大学卒業。スコラ・カントルム(フランス・パリ)卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティエノの各氏に師事。							
【到達目標】 日本と世界の音楽史を学び比較し、これからの音楽を考えていく力を習得する。							

授業計画・内容	
1回目	ポピュラー音楽を中心とした歴史背景の説明
2回目	日本の音楽と世界の歴史的背景
3回目	西洋音楽史①: 古代の音楽
4回目	西洋音楽史②: 中世の音楽
5回目	西洋音楽史③: 近代の音楽
6回目	西洋音楽史④: 現代の音楽
7回目	西洋音楽史⑤: ブルースからジャズ
8回目	西洋音楽史⑥: ポップス
9回目	日本音楽史①: ポピュラー全盛期
10回目	日本音楽史②: 民謡
11回目	日本音楽史③: 雅楽
12回目	日本と東洋・欧米の音楽的関係: 俯瞰分析
13回目	テスト範囲総括
14回目	筆記テスト
15回目	テスト返却 総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1: 定期試験10% 2: レポート10% 3: 出席率60% 4: 授業態度20%
受講生への メッセージ	音楽史の硬いイメージを取り払い、今日の音楽との関わりを丁寧に伝えるよう心がけます。 年号を暗記するなどの従来の方法だけでなく、実際の曲を通し、音楽の聞き方を一緒に広く変えていきましょう。
【使用教科書・教材・参考書】 教科書: 「Western Music」Claude V. Palisca他 副読本: 「音楽中辞典」池辺晋一郎 等 準備物: メモ、筆記用具等	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	音楽史 (music history)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	水沼 慎一郎
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	水曜4.5限

【授業の学習内容】

海外を中心にポピュラーミュージックの歴史認識を習得する。
 ※作曲家・ピアニスト 新潟大学卒業。スコラ・カントルム(フランス・パリ)卒業。作曲を清水研作、ナルシス・ボネ、パトリス・ショルティエノの各氏に師事。

【到達目標】

世界的なスタンダードとされる音楽ジャンル、ミュージシャンについての知識を習得し、国内はもとより海外でも通用する知識の習得。また、日本の音楽ビジネスの現状を世界のルーツを研究することで、より深い認識を習得する。

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション。海外の音楽シーンの現状を把握する
2回目	楽器、機材の遍歴と音楽ジャンルの関係性を知る
3回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
4回目	日本の音楽ビジネスの現状をメディアの生産量の動向から探る。
5回目	50年代 アメリカ ロックンロールの誕生①ブラックミュージックの状況
6回目	50年代 アメリカ ロックンロールの誕生②楽器生産の動向
7回目	60年代 モータウン ブラックミュージックの革命と公民権運動
8回目	60年代 サイケデリックミュージック ドラッグカルチャーと大型ロックフェス
9回目	70年代 ハードロック、グラムロック 表現手法の多様化
10回目	70年代 ファンクミュージック、ディスコブーム
11回目	70年代 パンクロック 既存の音楽の解体
12回目	80年代 HIPHOPカルチャー MTV登場によるメディア革命
13回目	海外の音楽 エンターテインメントについて テクノロジーや最先端のパフォーマンスを探る
14回目	日本の音楽シーンを振り返る ミリオンヒットについて
15回目	筆記テスト 総括
準備学習 時間外学習	
評価方法	1: 定期試験10% 2: レポート10% 3: 出席率60% 4: 授業態度20%
受講生への メッセージ	

【使用教科書・教材・参考書】

教科書: 音楽史(洋楽編iPad)
 配布資料他

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	プロジェクトワーク (project work)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	井上 直
学科	音楽テクノロジー	授業 形態	講義 または 演習	総時間	150	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	10	曜日・時限	月曜3~7限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、プッキング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的に且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。
 ※実務者経験:株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント所属 主業務はコンピューター&キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。

【到達目標】
 ◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。
 ◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。
 ◆著作物を扱うリテラシーを習得する。
 ◆本授業を通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。

授業計画・内容

1回目	【オリエンテーション】卒業制作のレギュレーションとフローの説明、目標設定発表、グループ決め、スケジュール表を制作する
2回目	【講義】CDのメリットデメリット、配信のメリットデメリット、また情報を発信できるサイトやツール・SNSの紹介・特色を分析出来る
3回目	【コンセプトワーク】アルバムを制作するにあたり、コンセプトを明確に表記した企画書の作成が出来る
4回目	【コンセプトワーク2】企画書、スケジュール表を提出(企画書スケジュールのリテイクあり)企画の通ったグループから作品制作演習を行う
5回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う
6回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※企画書提出×切
7回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
8回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
9回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
10回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
11回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
12回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
13回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
14回目	【OC(質問事項に対する講義)】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック
15回目	【OC(質問事項に対する講義)】スケジュールと制作演習を行う、現地点での制作楽曲のプレゼンが出来る

準備学習
時間外学習
授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。
たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)
------	--	--	---

受講生への
メッセージ
NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。
音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。
全力を尽くして作品創作に臨みましょう。

【使用教科書・教材・参考書】
 プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。
 (シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーションナリー推奨)
 必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	プロジェクトワーク (project work)	必修 選択	必修 選択	年次	3	担当教員	井上 直
学科	音楽テクノロジー	授業 形態	講義 または 演習	総時間	150	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	10	曜日・時限	月曜3~7限
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) コンセプトワークからコンポーズ・アレンジ、ブックイング・レコーディング・ディレクション・マスタリング・パッケージ・納品・コンテンツ作成まで各々が現場に立ち、プロデュースを行う。本授業を通し、グループワークと柔軟性を習得する。近年のクリエイターの活動傾向を鑑みて、楽曲・志向・活動等を具体的に且つ視覚的にデザインし、“アピール”するというマインドを習得する。 ※実務者経験:株式会社ポニーキャニオン所属 主業務はコンピューター&キーボード、作曲、編曲をはじめ、レコーディングからディレクション、マスタリング、オーサリングまで担当。							
【到達目標】 ◆コンセプト・プロット・企画書完成、作曲・アレンジに取りかかり、コンテンツ完成までの50%以上が完了。 ◆流行のコンテンツサービスをはじめ、音楽・動画配信の定義と仕組み説明ができるようになる。 ◆著作物を扱うリテラシーを習得する。 ◆本授業を通して自身の活動スタイルに合わせたコンテンツを発見する。							

授業計画・内容								
1回目	【コンセプトワーク】アルバム制作のスケジュール確認							
2回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
3回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
4回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
5回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
6回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
7回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
8回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
9回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
10回目	【OC(質問事項)に対する講義】制作グループ面談(または個人面談)スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
11回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
12回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
13回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
14回目	【制作演習】CDアルバム制作スケジュールと制作演習を行う ※クオリティチェック							
15回目	【制作演習】CDアルバム制作、楽曲のプレゼンができる							
準備学習 時間外学習	授業だけではまかないきれないので、時間外の制作がほとんどになると思います。 たくさん曲を制作することになりますので、自分の表現したいイメージを十分に膨らませておいてください。							
評価方法	<table border="1"> <tr> <td>1. 定期試験(%)</td> <td rowspan="5">評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格</td> <td rowspan="5">レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)</td> </tr> <tr> <td>2. 小テスト(%)</td> </tr> <tr> <td>3. レポート(%)</td> </tr> <tr> <td>4. 課題成果(%)</td> </tr> <tr> <td>5. 実地試験(%)</td> </tr> </table>	1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)	2. 小テスト(%)	3. レポート(%)	4. 課題成果(%)	5. 実地試験(%)
1. 定期試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	レポート60%(進捗報告とクオリティチェックで判断) 課題成果40%(クオリティチェック後の次回授業での報告で評価)						
2. 小テスト(%)								
3. レポート(%)								
4. 課題成果(%)								
5. 実地試験(%)								
受講生への メッセージ	NSMで学んできたこと、経験してきたことの集大成を作り上げる卒業制作プロジェクトです。 音楽的クオリティの追求からアートワーク作成、各々が自身の活動に合うコンテンツ作成までをつくりあげます。 全力を尽くして作品創作に臨みましょう。							
【使用教科書・教材・参考書】 プロットを作成するシーンが多いため、必ず専用のノートと筆記用具を持参。 (シャープペンシルや鉛筆など、消すことが可能なステーションナリー推奨) 必要に応じて保存メディア・個人ストレージを用意								

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ミュージックテクノロジー I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	斉藤修平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜5限
【授業の学習内容】							
<p>簡単なボーカルのエディットの技術ボーカルミックスの技術を習得する。 * 実務経験: 作曲家としてボーカルのボーカルディレクション及びピッチ補正を行なっている。</p>							
【到達目標】							
<p>メロダインを使ってピッチ補正する技術またボーカルに対するEQ、コンプなどを使用する技術を習得する。</p>							
授業計画・内容							
1回目	Melodyneについて						
2回目	Melodyneの使い方						
3回目	Melodyneを使ったピッチ補正1						
4回目	Melodyneを使ったピッチ補正2						
5回目	Melodyneを使ったピッチ補正3						
6回目	Melodyneの作業速度を上げる1(使用するボーカルの変更)						
7回目	Melodyneの作業速度を上げる 2						
8回目	EQ、コンプレッサーについて						
9回目	空間系エフェクトについて						
10回目	ボーカルミックスについて						
11回目	ミックス後のMelodyneの使用1						
12回目	ミックス後のMelodyneの使用2						
13回目	ミックス後のMelodyneの使用3						
14回目	発表						
15回目	発表						
準備学習 時間外学習	Melodyneの操作に慣れる。						
評価方法	授業内評価	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	制作物の提出20%、テスト80%にて評価します。				
受講生への メッセージ	Melodyneおそらく使用したことのないプラグインかと思いますが現在一番使われているボーカルエディットプラグインです。慣れない作業になるかとは思いますが楽曲制作する上で必ず役に立つツールになりますので意欲的に取り組みましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ミュージックテクノロジー I	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	斉藤修平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜6限
【授業の学習内容】							
DTMを使い簡単な音楽制作のスキルを習得する。 * 実務経験: 作家として作家事務所に所属し、アーティストへの楽曲提供をしている。							
【到達目標】							
簡単な編曲、作曲、作詞などを1人で行える技術を習得する。							
授業計画・内容							
1回目	パソコンの使い方、設備の使い方を理解する						
2回目	DTMの簡単な使い方を学ぶ						
3回目	音楽ジャンルについて						
4回目	ディスコについて						
5回目	ディスコ:ドラムのサウンドの選び方						
6回目	ディスコ:ドラムのフレーズを制作、アウトライン						
7回目	ディスコ:コードを制作						
8回目	ディスコ:シンセサイザーについて学ぶ						
9回目	ディスコ:シンセサイザーのフレーズを制作する						
10回目	簡単なメロディーを制作する						
11回目	簡単な歌詞を制作する						
12回目	簡単なミックス、マスタリング技術を習得する						
13回目	ビートメイキングに関するテスト						
14回目	発表						
15回目	発表						
準備学習 時間外学習	自分が使用するDTMの簡単な使い方。						
評価方法	授業内評価	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	制作物の提出20%、テスト80%にて評価します。				
受講生への メッセージ	レベルIの授業なので簡単なDTMの使い方などでもぜひ質問をして理解できない部分がない様に努めてください。また制作時間が長いですが集中して授業に参加してください。また授業で出てくる音楽ジャンルに興味を持ち様々なジャンルに興味を持ってください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ミュージックテクノロジーⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	斉藤修平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜3限
【授業の学習内容】							
ボーカルのエディットの技術ボーカルミックスの技術を習得する。* 実務経験: 作曲家としてボーカルのボーカルディレクション及びピッチ補正を行なっている。							
【到達目標】							
メロダイン、プロツールズを使ってピッチ補正、エディットする技術またボーカルに対するEQ、コンプなどを使用する技術を習得する							
授業計画・内容							
1回目	プロツールズの使い方						
2回目	プロツールズの使い方2						
3回目	波形編集について学ぶ1						
4回目	波形編集について学ぶ2						
5回目	波形編集について学ぶ3						
6回目	波形編集した後のボーカルエディットについて1						
7回目	波形編集した後のボーカルエディットについて2						
8回目	高度なボーカルエディットのみキシングについて学ぶ1						
9回目	高度なボーカルエディットのみキシングについて学ぶ2						
10回目	ボーカルを使った特殊な編集について学ぶ						
11回目	バックグラウンドボーカルについて学ぶ1						
12回目	バックグラウンドボーカルについて学ぶ2						
13回目	バックグラウンドボーカルについて学ぶ3						
14回目	発表						
15回目	発表						
準備学習 時間外学習	Melodyneの操作に慣れる。						
評価方法	授業内評価	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格	制作物の提出20%、テスト80%にて評価します。				
受講生への メッセージ	より歌のディテールをエディット制作していきます。細かい作業が多く変化も些細なものになってきますがいい作品にするためには些細なことの積み重ねです。集中して取り組みましょう。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	ミュージックテクノロジーⅡ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	斉藤修平
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	実習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	木曜4限
【授業の学習内容】							
DTMを使い音楽制作のスキルを習得する。 * 実務経験: 作家として作家事務所に所属し、アーティストへの楽曲提供をしている。							
【到達目標】							
編曲、簡単な作曲、作詞などを1人で行える技術を習得する。							
授業計画・内容							
1回目	ハウス音楽とは						
2回目	ハウス音楽に使われるドラムサウンドについて学ぶ						
3回目	ハウス音楽で使われるシンセサイザーの音、ビートメイキング						
4回目	シンセウェーブ、エレクトロポップ、シンセポップについて						
5回目	シンセウェーブのサウンドについて						
6回目	シンセウェーブの制作及びアナログシンセサイザーについて						
7回目	レゲトン及びラテンミュージックについて						
8回目	レゲトンで使用されるドラムサウンド及びシンセサウンド						
9回目	レゲトンのビート制作						
10回目	ミキシングについて						
11回目	ミキシングについて						
12回目	マスタリングについて						
13回目	マスタリングについて						
14回目	発表						
15回目	発表						
準備学習 時間外学習	自分が使用するDTMの簡単な使い方。						
評価方法	授業内評価	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	制作物の提出20%、テスト80%にて評価します。				
受講生への メッセージ	レベルⅡのサウンドプロダクションの授業では様々なジャンルを広く学びます。ぜひ様々な音楽に触れ興味を持ってください。またミックス、マスタリングではより高度なことをします。多少理解しきれない部分もあるかと思いますが頑張ってください。						
【使用教科書・教材・参考書】							
なし							

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	著作権・業界知識 (Copyright・Music industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林達也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】

刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。☒米国Art Institute of Seattle（ミュージックビジネス専攻）卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーティストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】

音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。☒

授業計画・内容

1回目	オリエンテーション／音楽業界の構造（1）／日本のレコード産業・全体像☒
2回目	音楽業界の構造（2）／日本レコード協会・JASRAC☒
3回目	著作権の基礎（1）概要／構造
4回目	著作権の基礎（2）歴史／現在☒
5回目	アーティストの権利／印税とは
6回目	収入シミュレーション（CD販売）
7回目	収入シミュレーション（ダウンロード／音楽配信）
8回目	日本におけるカラオケの歴史と市場／印税配分☒
9回目	著作権の保護期間／フェアユース／問題点など
10回目	ミュージックビデオ／プロモーションビデオの歴史と成り立ち
11回目	レンタルCD市場の歴史と著作権
12回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（1）
13回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの基礎（2）
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み☒

準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習
---------------	----------------------------------

評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30%	2. 授業内課題 30%	3. 期末レポート 30%	4. 授業態度 10%	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
------	--------------------	--------------	---------------	-------------	---

受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。☒
----------------	---

【使用教科書・教材・参考書】

使用教科書（学校より配布）：よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition（安藤 和宏）
参考書：18歳の著作権入門（福井 健策）

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	著作権・業界知識 (Copyright・Music industry knowledge)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	林達也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 2	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	月曜2限

【授業の学習内容】

刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス／カラオケビジネス／レンタルCDなどの基礎も習得する。また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料／印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。 ※米国Art Institute of Seattle (ミュージックビジネス専攻) 卒業。CD店舗マネージャー、ライブブッキング、アーティストマネージメント、全米ツアー企画制作など10年以上にわたり米国音楽ビジネスに携わる。城西国際大学メディア学部講師

【到達目標】

音楽業界の基礎／著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル／考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。著作権を主とした権利マネジメント／ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。☑

授業計画・内容

1回目	音楽業界の構造・応用編 (1) ☑
2回目	音楽産業の構造・応用編 (2) ☑
3回目	著作権の必須知識／使える著作権
4回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用 (1) ☑
5回目	ツアー／ライブ／コンサートビジネスの応用 (2)
6回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など (1)
7回目	音楽における著作権侵害とは？実例／具体例／判例など (2) ☑
8回目	国際的な音楽活動／世界の音楽ビジネス事情☑
9回目	音楽ビジネスにおける各種契約 (1)
10回目	音楽ビジネスにおける各種契約 (2)
11回目	音楽ビジネスにおける録音フォーマットの歴史と変遷
12回目	変わりゆく著作権／時代と著作権との関係と問題点
13回目	現在の音楽産業／これから10年後のビジネスモデル
14回目	音楽の仕事／音楽にまつわる職業の考察・応用編
15回目	まとめ／復習／期末課題への取り組み☑
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習／毎授業で配布される授業資料を復習
評価方法	1. 授業への参加／取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10% 評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格
受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利＝著作権とはなんなのか？どのような利益をもたらすのか？を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。☑

【使用教科書・教材・参考書】

使用教科書 (学校より配布) : よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編／実践編 5th Edition (安藤 和宏)
参考書 : 18歳の著作権入門 (福井 健策)

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	IT(information technology)	必修 選択	必修	年次	2.3	担当教員	浅井麻衣子
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース			4	曜日・時限	木曜1.2限	

【授業の学習内容】

情報へのアクセスが容易になった現在では、様々な端末で通信を行い生活する事が当たり前になってきました。社会に出るとパソコンを駆使して情報をまとめ、更にはプレゼンテーションする能力も求められます。この授業では、Microsoft Office Word, Microsoft Office PowerPointを使用し、基本的な操作を覚えることで、視覚的なフライヤーを作成していきます。また、プレゼンテーションの基礎を覚え、プレゼン資料を作成し、授業内で実際にプレゼンテーションを行います。

※実務者経験:専門学校にてWord,Excel,PowerPoint,ホームページ制作などのITに関係する授業を約15年行う。

【到達目標】

①インターネットの現状を学ぶことで、ITリテラシーを身につける。② Wordの基本操作を覚えることで、簡単な文書作成や図形、イラスト、写真などを使った視覚的な書類の作成(ポスター、フライヤーなど)ができる。③PowerPointの基本操作を覚え、スライド作成の手順を学ぶことで、見やすく説得力のあるスライドを作成し発表することができる。

授業計画・内容

1回目	ITガイダンス com portalアカウントを取得し、メールアドレスの設定が完了する。ITリテラシー理解度テストを受け、合格する。		
2回目	Word1 基本的な操作を覚え、簡単な文書を作成することができる。		
3回目	Word2 基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単な文書を作成することができる。		
4回目	Word3 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な文書の作成ができる。		
5回目	Word4 図形、画像などを使い、視覚的な文書(フライヤー)の作成、印刷ができる。		
6回目	PowerPoint1 基本的な操作を覚え、簡単なスライド作成ができる。		
7回目	PowerPoint2 基本的な操作を覚え、見栄えの良い簡単なスライド作成ができる。		
8回目	PowerPoint3 作成したスライドにアニメーションなどの動きを入れることができる。		
9回目	PowerPoint4 作成したスライドに動画を入れることができる。		
10回目	PowerPoint5-① プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
11回目	PowerPoint5-② プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
12回目	PowerPoint5-③ プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
13回目	PowerPoint5-④ プレゼンテーション課題の発表に向け、スライドを自分で制作することができる。		
14回目	PowerPoint6-① 自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。		
15回目	PowerPoint6-② 自分で完成させたスライドを使い、プレゼンテーションを行う。		
準備学習 時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておく、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやPowerPointなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。		
評価方法	定期試験50% 課題成果50%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	Wordで課題として制作するフライヤーを課題成果として、評価を行う。 PowerPointで課題として制作するスライド、実際に行うプレゼンテーションを定期試験として評価を行う。
受講生への メッセージ	パソコンの基本的な操作を身につけ、最終的には自分で完成させたスライドでプレゼンテーションをしていきます。授業を通して、自分の思いを言葉にして伝えることの難しさや楽しさ、自分独自の表現を見つけていきましょう。		

【使用教科書・教材・参考書】

テキスト:株式会社滋慶出版 COMPUTER BASIC WORD 2013・2016

その他:プリントを用意

データ保存用記憶媒体(USBフラッシュメモリ)

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	IT(information technology)	必修 選択	必修	年次	2.3	担当教員	浅井麻衣子
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース			4	曜日・時限	木曜1.2限	

【授業の学習内容】

社会に出ると、パソコンを使って様々な情報を管理していくことになります。特に「Microsoft」の文書作成ソフトWordと表計算ソフトExcelの基本操作は、仕事をする上では最低限求められるスキルで、どのような企業でも使われています。この授業ではMicrosoft Office Word, Excelを使い、ビジネスに必要な文書作成、表計算の基礎を覚え、基本的な文書作成や表計算ができるようにします。

※実務者経験: 専門学校にて、Word, Excel, PowerPoint, ホームページ制作などのITに関する授業を約15年行う。

【到達目標】

Word: 基本操作を覚えることで、簡単で見栄えの良いビジネス文書の作成ができる。
Excel: 基本操作や基本関数を覚えることで、計算式の入った表やグラフを作成できる。

授業計画・内容

1回目	Word1-1 基本的な操作を覚え、ビジネス文書を作成できる。	
2回目	Word1-2 基本的な操作を覚え、見栄えの良いビジネス文書を作成できる。	
3回目	Word2-1 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成できる。	
4回目	Word2-2 図形、画像などの挿入や操作方法を覚え、視覚的な書類を作成でき、印刷できる。	
5回目	Word3-1 表を作成する操作を覚え、表のあるビジネス文書を作成できる。	
6回目	Word3-2 表を作成する操作を覚え、表のある見栄えの良いビジネス文書を作成できる。	
7回目	Word4 Wordで図形や画像の入った文書を作成することができる。(中間試験)	
8回目	Excel1-1 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く)	
9回目	Excel1-2 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く、数式)	
10回目	Excel1-3 基本的な表を作成することができる。(入力、罫線を引く、数式、関数を使った計算)	
11回目	Excel2-1 棒グラフの作成をすることができる。	
12回目	Excel2-2 円グラフの作成をすることができる。	
13回目	Excel2-3 複合グラフの作成をことができ、表とグラフを印刷することができる。	
14回目	Excel3 これまで習得した範囲の練習問題を解くことができる。	
15回目	Excel4 Excelで表とグラフを作成することができる。(期末試験)	
準備学習 時間外学習	タイピングの練習ができるウェブサイト(e-typingなど)を利用して、タイピング練習を自主的にしておくと、キーボードに慣れ、作業速度も上がります。WordやExcelなどの操作をしっかり習得する為には、自主的な講義の復習が必要になります。	
評価方法	中間試験と期末試験80% タイピング・課題成果20%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格 Word、Excelは中間試験、期末試験で評価を行う。
受講生への メッセージ	IT後期の授業では、ビジネス文書の作成など実際に社会に出たときに活用できる機能をたくさん学んでいきます。前期でやった内容をよく理解して、後期の内容に進んでいきましょう。	
【使用教科書・教材・参考書】		
テキスト: 株式会社滋慶出版 COMPUTER BASIC WORD 2013・2016 その他: プリントを用意 データ保存用記憶媒体(USBフラッシュメモリ)		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	プロダクション実務Ⅰ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池淵雄也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日2限
【授業の学習内容】 アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。 ※コンサートプロモーターの制作実務を行う。							
【到達目標】 プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。							

授業計画・内容			
1回目	アンケート実施。生徒の好きな音楽、普段の音楽に関する市場調査実施。		
2回目	各自、題材を決め アーティストをプレゼンテーションする		
3回目	各自、題材を決め アーティストをプレゼンテーションする		
4回目	レコード会社のプロモーター基本編 アーティスト資料について学ぶ		
5回目	エイベックス創業者について学ぶ (映像視聴)		
6回目	秋元康のAKBプロジェクトを通じて、プロデュースについて学ぶ		
7回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ		
8回目	アーティスト、販促イベント、タイムテーブルの書き方を学ぶ		
9回目	考える力・考える癖をつける基本 自分の意見をもつことの重要性について学ぶ		
10回目	考える力・考える癖をつける基本 自分の意見をもつことの重要性について学ぶ		
11回目	市場調査 タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する		
12回目	市場調査 タワーレコード、ヴィレヴァン、HMVなどの店舗を調査する		
13回目	音楽業界の著名人のインタビューを考察し、レポート提出		
14回目	テスト		
15回目	総括		
準備学習 時間外学習			
評価方法	授業態度 (10%) レポート (10%) 実地試験 (80%)	<small>評価方法はGPA制度となります</small> 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	プロダクション実務Ⅰ	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	池淵雄也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜日2限
【授業の学習内容】 アーティストを売り出すための、マーケティング、プロモーションについて学ぶ。 ※コンサートプロモーターの制作実務を行う。							
【到達目標】 プロモーションプランを組み立て、実際にイベントを行えるスキルを身につける。							

授業計画・内容			
1回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」課題定義①	
2回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」現状分析	
3回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り出す。	
4回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り出す。	
5回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」発表	
6回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」発表	
7回目	総括		
8回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」課題定義②	
9回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」現状分析	
10回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り出す。	
11回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」問題、課題を被り出す。	
12回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」各グループ発表	
13回目	グループディスカッション	「グループに分かれてアーティスト企画書作る」各グループ発表	
14回目	テスト		
15回目	総括		
準備学習 時間外学習			
評価方法	授業態度 (10%) レポート (10%) 実地試験 (80%)	<small>評価方法はGPA制度となります</small> 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F 不合格	
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	プロダクション実務Ⅲ	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石川利江子
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	座学	総時間	60	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜日3限

【授業の学習内容】

ダンス・ミュージカルのイベント制作や運営業務などの実務経験あり。
音楽・舞台業界において基本的な知識をイベントを例に習得する。

【到達目標】

音楽・舞台業界の仕事に携わる上で、マネージャーとしてだけでなく、運営・制作の知識も習得し幅広く活躍できる人材になる。

授業計画・内容

1回目	自己紹介・音楽業界用語について
2回目	ライブハウス基礎知識 ホール代・楽器知識
3回目	舞台基礎知識 図面の見方
4回目	運営マニュアルについてⅠ
5回目	運営マニュアルについて・各資料の見方Ⅱ
6回目	タイムスケジュールについて
7回目	楽器知識Ⅰ
8回目	楽器知識Ⅱ
9回目	各スタッフの仕事について
10回目	制作スケジュールの作成について
11回目	進行台本の作成について
12回目	自主企画イベントを想定 チーム作り・ブレストⅠ
13回目	自主企画イベントを想定 資料作成Ⅱ
14回目	自主企画イベントを想定 資料作成Ⅲ
15回目	自主企画イベントを想定 発表・質疑応答Ⅳ
13回目	自主企画イベントを想定 発表・質疑応答Ⅴ
14回目	テスト
15回目	テスト返却・振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験 (%)	<small>評価方法はGPA制度となります</small>
	2. 小テスト (%)	100~90点 S
	3. レポート (%)	89~80点 A
		79~70点 B

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

iPad/PC

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	プロダクション実務Ⅲ	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	石川利江子
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	座学	総時間	60	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	4	曜日・時限	金曜日・3限

【授業の学習内容】

ダンス・ミュージカルのイベント制作や運營業務などの実務経験あり。
音楽・舞台業界において基本的な知識をイベントを例に習得する。

【到達目標】

Hospital Of Miracleを通じて、ミュージカル公演の運営・制作知識を深めるとともに人間性を養う

授業計画・内容

1回目	自己紹介・入学式振り返り
2回目	役割分担・プロモーションとは
3回目	決起集会 / プロモーション&動員計画と対象
4回目	プロモーション 進捗報告会・制作スケジュール作成
5回目	学園祭合同MT / HOM プロモーション進捗報告
6回目	学園祭合同MT / HOM プロモーション進捗報告・電話掛け・チラシ発送物準備
7回目	HOM プロモーション進捗報告・電話掛け・チラシ発送
8回目	セクション別の仕事/ステージ・(進行.楽器.舞台.字幕) フロント (本部.受付.楽屋) 作業Ⅰ
9回目	セクション別の仕事/ステージ・(進行.楽器.舞台.字幕) フロント (本部.受付.楽屋) 作業Ⅱ
10回目	セクション別の仕事/ステージ・(進行.楽器.舞台.字幕) フロント (本部.受付.楽屋) 作業Ⅲ
11回目	セクション別の仕事/ステージ・(進行.楽器.舞台.字幕) フロント (本部.受付.楽屋) 作業Ⅳ
12回目	セクション別の仕事/ステージ・(進行.楽器.舞台.字幕) フロント (本部.受付.楽屋) 作業Ⅴ
13回目	セクション別の仕事/ステージ・(進行.楽器.舞台.字幕) フロント (本部.受付.楽屋) 作業Ⅵ
14回目	セクション別の仕事/ステージ・(進行.楽器.舞台.字幕) フロント (本部.受付.楽屋) 作業Ⅶ
15回目	全体 / 運営マニュアルに基づき最終確認
13回目	本番
14回目	本番振り返り / テスト
15回目	テスト返却・振り返り

準備学習
時間外学習

評価方法	1. 定期試験 (%)	<small>評価方法はGPA制度となります</small>
	2. 小テスト (%)	100~90点 S
	3. レポート (%)	89~80点 A
		79~70点 B

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

iPad/PC

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	舞台制作 (music production)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	佐藤 聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	水1・2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するイベントの企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識(工具・部材の取り扱い、PCにおけるアプリケーション知識、SNS知識・舞台基礎)を中心に実行。ZeppライブエンターテイメントにてZeppNagoya運営アシスタントポジションにて全国Zepp系列の運営チーフにて在籍。また芸能プロダクションにも勤め、現場マネジメントとしても活動。

【到達目標】

各知識習得後、イベントの実行・制作として行える引き出しを増やすきっかけにする。
また自分の特技とするものを作るきっかけにする。

授業計画・内容

1回目	1限 コミュニケーションスキルアップ/文章構成・マーケティング(JFN学生ラジオCMコンテスト)①	
2回目	文章構成・マーケティング(JFN学生ラジオCMコンテスト)②/ミュージカル制作について	
3回目	尺貫法・舞台大道具について①/プロモーター会社運営について	
4回目	ドラムの組み方/電源知識①/チラシコーディネート	
5回目	道具の種類・使い方について	
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識①/カラーコーディネート知識	
7回目	音源データ作成知識(Garageband etc)①	
8回目	台本の読み取り方・メモの取り方・活用方法	
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について①(Twitter・Youtubeなど)	
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について②補足:データフォーマットに関して	
11回目	機材端子/電源について②	
12回目	楽器基礎知識について/電源について②	
13回目	舞台制作①/道具についておさらい	
14回目	舞台制作②/道具についておさらい	
15回目	照明予備知識について①	
準備学習 時間外学習	常に身の回りにおけるライブやデザインの構図や構成を考える癖をつけ、授業時の発想に活かすことができるようにする。	
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(20%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(70%) 5. 実地試験(10%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	答えが1つとする用語があれば、答えが複数という発想に繋がるものがあります。たくさんの引き出しを身につけ、臨機応変に対応できる人材を目指してください。	

【使用教科書・教材・参考書】

ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	舞台制作 (music production)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	佐藤 聖也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	木曜日・1~2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載するイベントの企画・制作業務において、マルチな知識が必要とされる役割となります。概念とは別に実行に移すための予備知識(工具・部材の取り扱い、PCにおけるのアプローチ知識、SNS知識・舞台基礎)を中心に実行。

【到達目標】

各知識習得後、イベントの実行・制作として行える引き出しを増やすきっかけにする。
また自分の特技とするものを作るきっかけにする。

授業計画・内容

1回目	タイムスケジュール・進行表作成①
2回目	タイムスケジュール・進行表作成②
3回目	尺貫法・舞台大道具について②
4回目	HP制作技術講座①
5回目	HP制作技術講座②
6回目	チラシ・ポスター制作基礎知識②
7回目	音源データ作成知識 (Garageband etc) ③
8回目	音源データ作成知識 (Garageband etc) ④
9回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について③(Twitter・Youtubeなど)
10回目	iMovie作成/SNSプロモーション戦略について④補足:データフォーマットに関して復習
11回目	大道具舞台組み実習①
12回目	大道具舞台組み実習②
13回目	野外設営知識①
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	照明予備知識について②

準備学習 時間外学習	課題提出あり
---------------	--------

評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(20%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(70%) 5. 実地試験(10%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
------	--	--

受講生への メッセージ	
----------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

ipad・舞台大道具・楽器・iMac etc

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	マネジメント I (Management I)	必修 選択	必須	年次	1	担当教員	藤村 典子
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	火曜、3・4限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する音楽産業の基本構造を理解し、権利ビジネスの重要性、お金の流れを説明できるようになる。

※実務経験: 2001年4月～2012年4月まで総合エンターテインメント企業の音楽マネージメント部門に所属。2012年5月よりインディペンデントレーベルにて、A&R、マネージメント、イベント制作、マーチャндаイジング事業に従事。

【到達目標】

プロダクションの仕組みを把握し、音楽産業の基本構造を理解する。

- ・原盤印税と著作権印税の計算方法を習得する
- ・音源制作における収入、支出を理解し、予算を立てられる
- ・コンサート事業の収入、支出を理解し、予算を立てられる

授業計画・内容

1回目	音楽業界の仕組みを説明できる	
2回目	音楽産業の基本構造を説明できる	
3回目	コンサートの現場で使用される舞台用語を習得する①	
4回目	コンサートの現場で使用される舞台用語を習得する②	
5回目	レコード会社の役割を説明できる①	
6回目	レコード会社の役割を説明できる②	
7回目	テレビ放送におけるネットワークを説明できる	
8回目	ストリーミングサービスが音楽市場に及ぼす影響と、予想される市場の変化を説明できる①	
9回目	ストリーミングサービスが音楽市場に及ぼす影響と、予想される市場の変化を説明できる②	
10回目	チケット不正転売禁止法施行と今後の課題を説明できる	
11回目	セッティング図の書き方を習得する	
12回目	回線表の書き方を習得する	
13回目	原盤印税と著作権印税の計算方法を習得する	
14回目	舞台制作②/道具についておさらい	
15回目	筆記試験にて到達目標の達成率を確認する	
準備学習 時間外学習	音楽業界総合サイト『ミュージックマン』などで流行や動向をチェックしておく。	
評価方法	1. 定期試験 (50%) 2. 出席率、授業態度 (50%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	技術革新を起因としてマーケットが劇的に変化し、音楽業界もその影響を十分に受けています。今後の音楽業界では、目まぐるしい変化の中で、既存の概念にとらわれず、先見性をもって仕掛けていけるような、把握力と発想力のある人材が求められます。そのためにはまず音楽を”産業”として、”ビジネス”として捉え、権利やお金に強くなってください。	

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	マネジメントⅡ (Management Ⅱ)	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	藤村 典子
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	火曜、1・2限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する最新の音楽市場を把握し、新たな仕掛けを作れる発想力を身に付ける。

※実務経験：2001年4月～2012年4月まで総合エンターテインメント企業の音楽マネジメント部門に所属。2012年5月よりインディペンデントレーベルにて、A&R、マネージメント、イベント制作、マーチャндаイジング事業に従事。

【到達目標】

- ・コンサートプロモーションの方法を習得する
- ・音楽市場の変化に合わせたプロモーション方法を習得する

授業計画・内容

1回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる(北海道編)
2回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる(東北編)
3回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる(北陸・甲信越、中部編)
4回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる(中四国、九州編)
5回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる(関西編)
6回目	地方におけるコンサートプロモーターの役割と実例を説明できる(関東編)
7回目	最新の音楽市場の動向を説明できる①
8回目	最新の音楽市場の動向を説明できる②
9回目	チケット不正転売禁止法施行と今後の課題を説明できる①
10回目	チケット不正転売禁止法施行と今後の課題を説明できる②
11回目	音楽業界におけるコンプライアンスを習得する①
12回目	音楽業界におけるコンプライアンスを習得する②
13回目	音楽市場の変化に合わせたプロモーションの成功事例をもとにプロモーション方法を習得する①
14回目	舞台制作②/道具についておさらい
15回目	筆記試験にて到達目標の達成率を確認する

準備学習
時間外学習

各交通機関や遠方に向いた際の各地の(宿泊先・食事関係・交通費)相場を確認しておく。
ライブ会場に向いた際に、各スタッフの仕事内容を把握しておく。

評価方法	1. 定期試験(50%) 2. 出席率、授業態度 (50%)	評価方法はGPA制度となります 100～90点 S 89～80点 A 79～70点 B 69～60点 C 59点以下 F不合格
------	--------------------------------------	--

受講生への
メッセージ

技術革新を起因としてマーケットが劇的に変化し、音楽業界もその影響を十分に受けています。今後の音楽業界では、目まぐるしい変化の中で、既存の概念にとらわれず、先見性をもって仕掛けていけるような、把握力と発想力のある人材が求められます。そのためにはまず音楽を”産業”として、”ビジネス”として捉え、権利やお金に強くなってください。

【使用教科書・教材・参考書】

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	舞台制作 (music production)	必修 選択	必須	年次	3	担当教員	林達也
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	60 4	開講区分	前期
コース	全コース					曜日・時限	月曜日3・4限

【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する)
 刻々と変わって行く音楽ビジネスの現状を常に吸収し習得する。音楽業界の基本構造を理解し、著作権から発生する印税の仕組み、またコンサートビジネス/カラオケビジネス/レンタルCDなどの基礎も習得する。
 また、著作権の概念や目的の基本を理解する。著作物とは何であるかを理解した上で、現代における音楽著作権の問題点なども含め、著作権使用料/印税などの具体例や実例を挙げて考察していく。□

【到達目標】
 音楽業界の基礎/著作権の基礎を理解するとともに、ビジネス的視点で捉えるスキル/考え方を得ることを目的とする。配信ビジネスへの変遷を含め、さまざまな角度から音楽ビジネスと音楽著作権を研究する。
 著作権を主とした権利マネジメント/ビジネスの概要を習得する。また、現代における著作権の問題点などもあわせて習得する。□

授業計画・内容		
1回目	オリエンテーション/音楽業界の構造(1)/日本のレコード産業・全体像□	
2回目	音楽業界の構造(2)/日本レコード協会・JASRAC□	
3回目	著作権の基礎(1)概要/構造	
4回目	著作権の基礎(2)歴史/現在□	
5回目	アーティストの権利/印税とは	
6回目	収入シミュレーション(CD販売)	
7回目	収入シミュレーション(ダウンロード/音楽配信)	
8回目	日本におけるカラオケの歴史と市場/印税配分□	
9回目	著作権の保護期間/フェアユース/問題点など	
10回目	ミュージックビデオ/プロモーションビデオの歴史と成り立ち	
11回目	レンタルCD市場の歴史と著作権	
12回目	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(1)	
13回目	ツアー/ライブ/コンサートビジネスの基礎(2)	
14回目	舞台制作②/道具についておさらい	
15回目	まとめ/復習/期末課題への取り組み□	
準備学習 時間外学習	教科書などを用いた授業への予習/毎授業で配布される授業資料を復習	
評価方法	1. 授業への参加/取り組み 30% 2. 授業内課題 30% 3. 期末レポート 30% 4. 授業態度 10%	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格
受講生への メッセージ	現代において音楽活動や音楽ビジネスに携わっていくには、これまで以上に音楽業界の基本構造や音楽ビジネスの基礎を学んでおく必要があります。また、音楽における権利=著作権とはなんなのか?どのような利益をもたらすのか?を理解しておくのが必須となってきています。難解な部分もあるかもしれませんが、出来るだけ易しく紐解いていければと考えております。□	
【使用教科書・教材・参考書】		
使用教科書(学校より配布):よくわかる音楽著作権ビジネス 基礎編/実践編 5th Edition (安藤 和宏) 参考書:18歳の著作権入門 (福井 健策)		

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	メディアプロダクション	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山崎葉月
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。 また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。</p> <p>※実務者経験:名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校卒業後、ソニーミュージック所属アーティストのヴォイストレーニング、モデル、インフルエンサーとして活躍。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セルフプロモーション 2. Sns運用や構造の理解 3. 発信力 							

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析①
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習 時間外学習	
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい
<p>【使用教科書・教材・参考書】 筆記用具 iPad スマートフォン</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	メディアプロダクション	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山崎葉月
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。 また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。</p> <p>※実務者経験:名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校卒業後、ソニーミュージック所属アーティストのヴォイストレーニング、モデル、インフルエンサーとして活躍。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> セルフプロモーション Sns運用や構造の理解 発信力 							

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析②
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習 時間外学習	
評価方法	1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>筆記用具 iPad</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	メディアプロダクション	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山崎葉月
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。 また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。</p> <p>※実務者経験:名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校卒業後、ソニーミュージック所属アーティストのヴォイストレーニング、モデル、インフルエンサーとして活躍。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セルフプロモーション 2. Sns運用や構造の理解 3. 発信力 							

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析③
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> 筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	メディアプロダクション	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山崎葉月
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。 また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。</p> <p>※実務者経験:名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校卒業後、ソニーミュージック所属アーティストのヴォイストレーニング、モデル、インフルエンサーとして活躍。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> セルフプロモーション Sns運用や構造の理解 発信力 							

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析④
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 課題成果(50%) 出席率(50%)
受講生への メッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>筆記用具 iPad</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	メディアプロダクション	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山崎葉月
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	前期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。 また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。</p> <p>※実務者経験:名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校卒業後、ソニーミュージック所属アーティストのヴォイストレーニング、モデル、インフルエンサーとして活躍。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. セルフプロモーション 2. Sns運用や構造の理解 3. 発信力 							

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析⑤
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く 2. OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 3. 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 4. 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 課題成果(50%) 2. 出席率(50%)
受講生への メッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> 筆記用具 iPad	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	メディアプロダクション	必修 選択	必修	年次	3	担当教員	山崎葉月
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	演習	総時間	30	開講区分	後期
コース	全コース			(単位)	2	曜日・時限	火曜 6限
<p>【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 本科目は、自分自身をメディアプロモーションしていくための技法や戦略を学び、snsを通して世界中へ音楽を発信していく事を目的とします。 また音楽編集、撮影等、様々なスキルを学び発信力を身に着けます。</p> <p>※実務者経験:名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校卒業後、ソニーミュージック所属アーティストのヴォイストレーニング、モデル、インフルエンサーとして活躍。</p>							
<p>【到達目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> セルフプロモーション Sns運用や構造の理解 発信力 							

授業計画・内容	
1回目	SNSについての理解を深める
2回目	インフルエンサーの分析⑥
3回目	方向性について、Diagramの作成、自身の分析を行う
4回目	スマートフォン動画制作
5回目	スマートフォン動画制作
6回目	スマートフォン動画制作
7回目	sns投稿の方法、構造の理解を深める
8回目	機材の説明、機材の使用方法を理解する
9回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
10回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
11回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
12回目	簡易REC 各メディアを使用したRECを行う
13回目	MIXダウンの方法を理解し実践する
14回目	卒業制作展
15回目	卒業制作展
準備学習 時間外学習	<ol style="list-style-type: none"> 日々の学校生活を学習ポートフォリオに書く OB・OGセミナー、新人発掘プレゼンテーション、企業説明会に参加する 海外実学研修、外部イベント校外学習に参加する 事前課題など各種レポートを書く
評価方法	<ol style="list-style-type: none"> 課題成果(50%) 出席率(50%)
受講生への メッセージ	snsを通して様々な音楽を発信してほしい
<p>【使用教科書・教材・参考書】</p> <p>筆記用具 iPad</p>	

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論 I (musical theory I)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	渡辺智哉
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	前期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜4.5

【授業の学習内容】

音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、
楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。

※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】

音名を知ることから始め、5線に書かれた楽譜を読めるようにする。
また、メジャースケールや5度圏など、調性についての知識を習得する。

授業計画・内容

1回目	楽譜の歴史を知る。
2回目	音名を知る。
3回目	音符・休符
4回目	拍子記号
5回目	反復記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	メジャースケール
8回目	メジャースケール
9回目	メジャースケール、5度圏、調号
10回目	メジャースケール、5度圏、調号
11回目	記譜法、臨時記号
12回目	記譜法、臨時記号
13回目	テンポ、強弱記号
14回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
15回目	期末テスト

準備学習
時間外学習

評価方法 試験80%、出席・授業態度20%

受講生への
メッセージ

【使用教科書・教材・参考書】

教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	音楽理論Ⅱ (musical theory Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	渡辺智哉
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	60	開講区分	後期
コース	全コース				4	曜日・時限	水曜4.5

【授業の学習内容】

音楽の言語となるもので、音楽コミュニケーションの基本から学び、楽譜からアレンジまで実践的な要素も習得する。
 ※実務者経験：ルネ音楽教室代表。自身のバンドやサポート・セッションギタリスト、インストラクターとして、名古屋を中心に15年以上活動を続けている。

【到達目標】

マイナースケールや近親調など調性についての知識を習得する。
 基本形でのコードがわかる。

授業計画・内容

1回目	マイナースケールを知る。
2回目	マイナースケール
3回目	近親調
4回目	移調
5回目	奏法の記号
6回目	スコアリーディング及び確認テスト
7回目	コード(トライアド)
8回目	コード(トライアド)
9回目	コード(7thコード)
10回目	コード(7thコード)
11回目	その他のコード
12回目	その他のコード
13回目	スコアリーディング及び期末テスト予習
14回目	期末テスト
15回目	テスト返却、復習

準備学習 時間外学習	
---------------	--

評価方法	試験80%、出席・授業態度20%
------	------------------

受講生への メッセージ	
----------------	--

【使用教科書・教材・参考書】

教科書、iPad、授業プリント

名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校 2024年度 シラバス

科目名 (英)	専門留学	必修 選択	必修 選択	年次	3年	担当教員	
学科	音楽テクノロジー科	授業 形態	講義 または 演習	総時間 (単位)	300	開講区分	後期
コース	全コース					曜日・時限	
【授業の学習内容】 (※実務経験のある教員、知見を有する教員が、どのような授業を実施するのか、具体的に記載する) 姉妹校のザコレクティブスクールオブミュージックおよびエレクトロニックミュージック・コレクティブ (EMC)での3ヶ月から1年間の海外専門留学を通して、現地での専門技術、コミュニケーション技術、国際 感覚を身につける。							
【到達目標】 姉妹校のザコレクティブスクールオブミュージックおよびエレクトロニックミュージック・コレクティブ (EMC)にて3ヶ月から1年間の海外専門留学。							

授業計画・内容			
1回目	専門留学		
2回目	専門留学		
3回目	専門留学		
4回目	専門留学		
5回目	専門留学		
6回目	専門留学		
7回目	専門留学		
8回目	専門留学		
9回目	専門留学		
10回目	専門留学		
11回目	専門留学		
12回目	専門留学		
13回目	専門留学		
14回目	専門留学		
15回目	専門留学		
準備学習 時間外学習	毎週の留学制作レポート報告		
評価方法	1. 定期試験(%) 2. 小テスト(%) 3. レポート(%) 4. 課題成果(%) 5. 実地試験(%)	評価方法はGPA制度となります 100~90点 S 89~80点 A 79~70点 B 69~60点 C 59点以下 F不合格	1. 課題100%
受講生への メッセージ			
【使用教科書・教材・参考書】			